

小山市経済動向実態調査

(令和元年度第1回小山市景気動向アンケート調査結果)

令和元年9月

小山市産業観光部商業観光課委託

白鷗大学ビジネス開発研究所

小山市経済動向実態調査
(令和元年度第1回小山市景気動向アンケート調査結果)

目次

要旨	1 頁
I. 小山市景気動向アンケート調査結果 (令和元年度第1回)	3 頁
1. 調査の目的	3 頁
2. 調査対象・調査内容	3 頁
3. 調査結果	6 頁
II. まとめ	24 頁
<参考資料>	
1. 小山市景気動向アンケート調査票 (令和元年度第1回)	26 頁
2. 小山市景気動向アンケート調査 (令和元年度第1回) の回答一覧	30 頁
3. 小山市景気動向アンケート調査 (時系列データ)	48 頁

小山市経済動向実態調査プロジェクトメンバー

(小山市景気動向アンケート調査担当)

白鷗大学経営学部教授・ビジネス開発研究所運営委員	吉川 薫
白鷗大学経営学部准教授・ビジネス開発研究所運営委員	西谷勢至子
白鷗大学総合研究所担当職員	櫻庭 律子

小山市経済動向実態調査 (令和元年度第1回小山市景気動向アンケート調査結果)

令和元年9月
白鷗大学ビジネス開発研究所

白鷗大学ビジネス開発研究所では、小山市産業観光部商業観光課からの委託を受けて小山市の消費面を中心とした経済動向を把握するため、平成14年度以降小山市経済動向実態調査を実施している。令和元年度小山市経済動向実態調査では、小山市景気動向アンケート調査2回(6月と12月)とヒアリング調査(1月)を予定している。本報告書は令和元年度小山市景気動向アンケート調査(第1回)の調査結果をまとめたものである。

要旨

令和元年6月から7月にかけて実施した「小山市景気動向アンケート調査(令和元年度第1回)」の結果をみると、令和元年上半期(元年1~6月期)の小山市の景気の現状(水準)をきいた質問の回答では、「やや悪い」が増加し、「やや良い」が減少したことなどから、DI値¹では44.5%と前回調査(平成30年12月、以下同じ)の51.6%から低下し、4期ぶりで50%未満となった。「やや悪い」という回答の理由としては、「来客数の減少」、「買い控えが目立つ」などがあがっている。また、回答割合の高い「どちらともいえない」という回答の理由としては、「消費者・取引先とも目立った変化がない」、「客数減・価格やや上昇により、トータルで横ばい」などがあがっている。小山市の景気の先行き(元年7~12月の見通し)については、前回調査に比べると、「やや悪くなる」が増加し、「やや良くなる」が減少したことなどからDI値では45.6%と前回(55.0%)から低下し、6期ぶりに50%未満となった。回答の理由としては、「やや悪くなる」と回答した企業では、「消費税増税の影響」、「いろいろなモノの値段が上昇しており、そこに10月の消費税増税があるため、さらに消費者の節約志向が高まる」などが、「変わらない」と回答した企業では、「消費税増税前の駆け込みと増税後の減速により平均すると横ばい」、「固定客は安定している」などがあがっている。一方、「やや良くなる」と回答した理由では「大規模分譲などで人口の流入が期待できる」、「飲食店の新規開店」などがあがっている。

¹ 回答(%)の「良い」を1、「やや良い」を0.75、「どちらともいえない」を0.5、「やや悪い」を0.25、「悪い」を0として、構成比で加重平均したものである。

自己の企業や業界の売上金額の増減についての回答をみると、令和元年上半期（1～6月期）は平成30年下半期（7～12月期）に比べ「やや減少した」が増加し、「やや増加した」が減少したことなどから、D I 値は43.8%と再び低下し、50%を下回った。「やや減少した」理由としては、「来客数が減少している」（小売業）、「原材料が値上げしたため」（印刷業）などがあがっている。先行き（来半期）の売上高見通しのD I 値は46.8%と前回（53.3%）より低下し、4期ぶりに50%を下回った。

令和元年下半期（7～12月期）の業界の販売価格の見通しについては、令和元年上半期（1～6月期）に比べて、「やや低下する」、「やや上昇する」がいずれも増加し、「変わらない」が減少したことなどから、D I 値では49.5%と前回（48.9%）からいくぶん上昇したものの、3期連続で50%を下回った。令和元年下半期（7～12月期）の雇用見通しについては、令和元年上半期（1～6月期）に比べて、「不足」、「やや不足」が減少し、「横ばい」、「やや過剰となる」が増加したことなどからD I 値は57.3%と前回（64.8%）から低下し、2期ぶりに50%台となった。なお、資金繰りの状況については、今回調査ではD I 値は52.2%と前回（54.4%）からやや低下したが、引続き50%を上回っている。また、令和元年度の賃金等の状況をみると、前回調査（平成30年度賃金）と比べて「ボーナスの減額」が増加し、「ボーナスの増額」などは減少した。

今回のアンケート調査で追加した「消費税率引上げと軽減税率導入への準備状況」に関する質問については、「準備は概ね完了している」（41.3%）が4割を超えて一番多いものの、「準備は全く進んでいない」（13.0%）、「準備はやや遅れている」（13.0%）も併せて26%となっており、「準備は完了している」は8.7%であった。

以上のように、令和元年上半期（1～6月期）の小山市の景況感をみると、現状、先行きとも前回調査から悪化し、D I 値で50%を下回った。この背景としては、令和元年10月に予定されている消費税率引上げの影響への懸念とともに、製造業を中心に米中貿易摩擦の影響が出てきているためとみられる。今後、消費税率引上げの影響とともに、米中貿易摩擦の行方とその影響を注意深く見守る必要がある。

I. 小山市景気動向アンケート調査結果（令和元年度第1回）

1. 調査の目的

小山市景気動向アンケート調査は、小山市の景気動向を把握するため、小山市の流通業、サービス業、製造業などの企業、店舗に対して小山市の景況、各業界の業況等をアンケート形式で調査したものである。

2. 調査対象・調査内容

2-1) 調査対象

令和元年6月から令和元年7月にかけて、小山市内の企業² 120社程度を対象に小山市の景気動向に関するアンケート調査を行い、46社から回答を得た。回収率は約38%である。

（回答企業の業種別構成）

（図表1） 回答企業の業種別構成（ ）内は前回（平成30年12月）調査

業種	社数	業種	社数
流通業（小売業等）	14社（17社）	通信・放送業	1社（1社）
製造業	10社（8社）	不動産・住宅業	2社（1社）
金融・保険業	2社（2社）	サービス業	9社（7社）
運輸業	3社（3社）	印刷業	1社（1社）
ホテル・旅行業	1社（2社）	不明	2社（1社）
飲食業	1社（2社）		
		合計	46社（45社）

前回調査（平成30年12月）に比べ、

増加した業種：製造業、不動産・住宅業、サービス業、不明

減少した業種：流通業（小売業等）、ホテル・旅行業、飲食業

² これまで調査に回答していただいた企業を中心に製造業を含め120社程度を対象。

(回答企業の従業者規模別の構成)

(図表 2) 回答企業の従業者数

従業者数 (人)	企業数 (社)	構成比 (%)
1～4	10	22 (22、21)
5～9	4	9 (9、11)
10～19	3	7 (16、16)
20～29	4	9 (4、 5)
30～49	3	7 (7、 8)
50～99	12	26 (22、13)
100 以上	8	17 (18、18)
不明	2	4 (2、 8)
計	46	100 (100、100)

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (平成 30 年 12 月)、右が前々回調査 (平成 30 年 6 月) の構成比。(個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても 100 にならないことがある。)

前回調査 (平成 30 年 12 月) に比べ、

構成比が 2%ポイント以上上昇した従業者規模：20～29 人、50～99 人、不明

構成比が 2%ポイント以上減少した従業者規模：10～19 人

(回答企業の年間売上高規模別の構成)

(図表 3) 回答企業の売上高

売上高 (円)	企業数 (社)	構成比 (%)
3,000 万未満	5	11 (18、16)
3,000 万～1 億未満	4	9 (11、13)
1 億～5 億未満	9	20 (24、21)
5 億～10 億未満	5	11 (9、11)
10 億以上	12	26 (18、18)
不明	9	20 (20、 8)
計	44	100 (100、100)

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (平成 30 年 12 月)、右が前々回調査 (平成 30 年 6 月) の構成比。(個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても 100 にならないことがある。)

前回調査 (平成 30 年 12 月) に比べ、

構成比が 2%ポイント以上上昇した年間売上高規模：

5 億～10 億未満、10 億以上

構成比が 2%ポイント以上低下した年間売上高規模：

3000 万未満、3,000 万～1 億未満、1 億～5 億未満

(回答企業の小山市内における売上割合)

(図表 4) 回答企業の小山市内における売上割合

小山市内の売上割合 (%)	企業数 (社)	構成比 (%)
80~100	14	30 (27、34)
60~80	11	24 (24、24)
40~60	5	11 (18、11)
20~40	4	9 (9、11)
0~20	8	17 (16、20)
不明	4	9 (7、 0)
計	46	100 (100、100)

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (平成 30 年 12 月)、右が前々回調査 (平成 30 年 6 月) の構成比。(個々の構成比の四捨五入の関係で合計が 100 にならないことがある。)

小山市内の売上割合が 60%以上の計 : 25 社 (54%) (前回調査 : 51%)

2-2) 調査内容

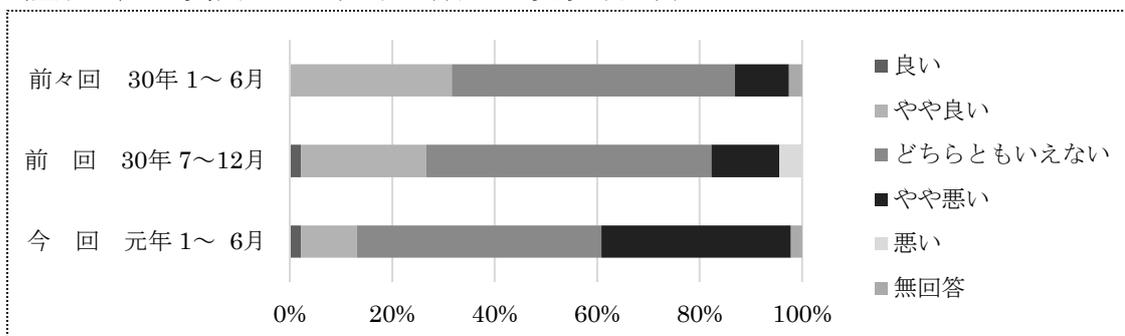
今回の調査項目は、景況感に関わる従来からの質問項目および令和元年度の主な従業員の賃金等の状況に関する質問項目に加え、消費税率引上げと軽減税率導入の準備状況に関する質問事項からなっている。

- 質問 1 小山市の景気の現状(水準)
- 質問 2 質問 1 の回答理由
- 質問 3 小山市の景気の先行き見通し
- 質問 4 質問 3 の回答理由
- 質問 5 業界の売上金額の変化
- 質問 6 質問 5 の回答理由
- 質問 7 業界の売上高見通し
- 質問 8 質問 7 の回答理由
- 質問 9 業界の販売価格見通し
- 質問 10 業界の雇用状況の見通し
- 質問 11 資金繰りの状況
- 質問 12 質問 11 の回答理由
- 質問 13 令和元年度の主な従業員の賃金等の状況
- 質問 14 質問 13 の回答理由
- 質問 15 消費税率引上げと軽減税率導入の準備状況
- 質問 16 消費税率引上げと軽減税率導入の際の課題

3. 調査結果

3-1) 全般的な小山市の景気

(図表 5) 質問 1 小山市の景気の現状(水準)

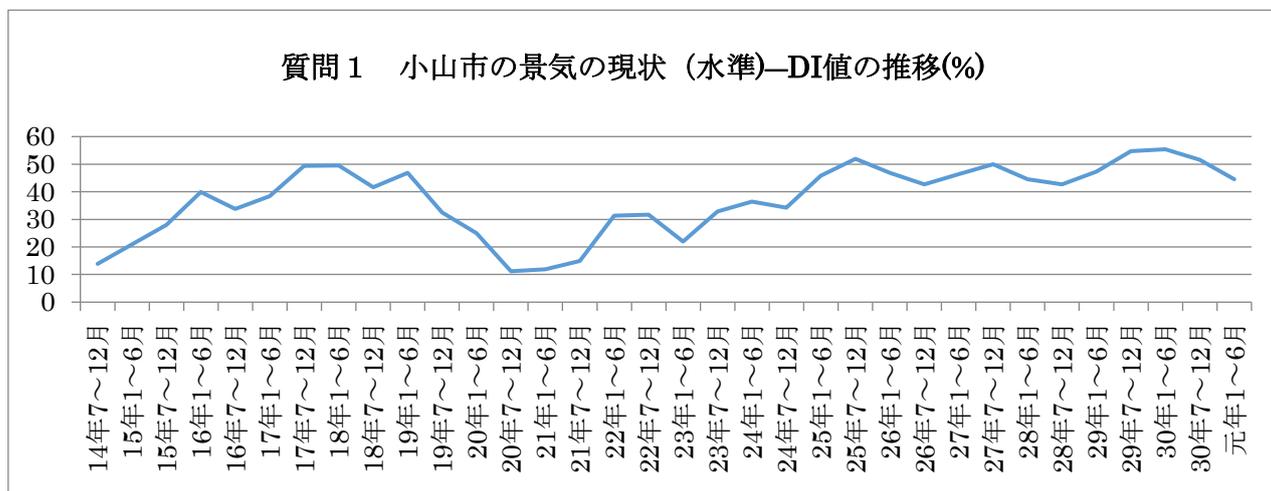


(注) グラフでは「良い」が左側 (以下の横棒グラフも同じ)。

DI 値は回答 (%) の「良い」を 1、「やや良い」を 0.75、「どちらともいえない」を 0.5、「やや悪い」を 0.25、「悪い」を 0 とし、構成比 (無回答を除く) で加重平均したもの。以下の質問でも同じ。

(%)

	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い	無回答	DI値
前々回 30年1~6月	0	31.6	55.3	10.5	0	2.6	55.4
前回 30年7~12月	2.2	24.4	55.6	13.3	4.4	0	51.6
今回 元年1~6月	2.2	10.9	47.8	37.0	0	2.2	44.5



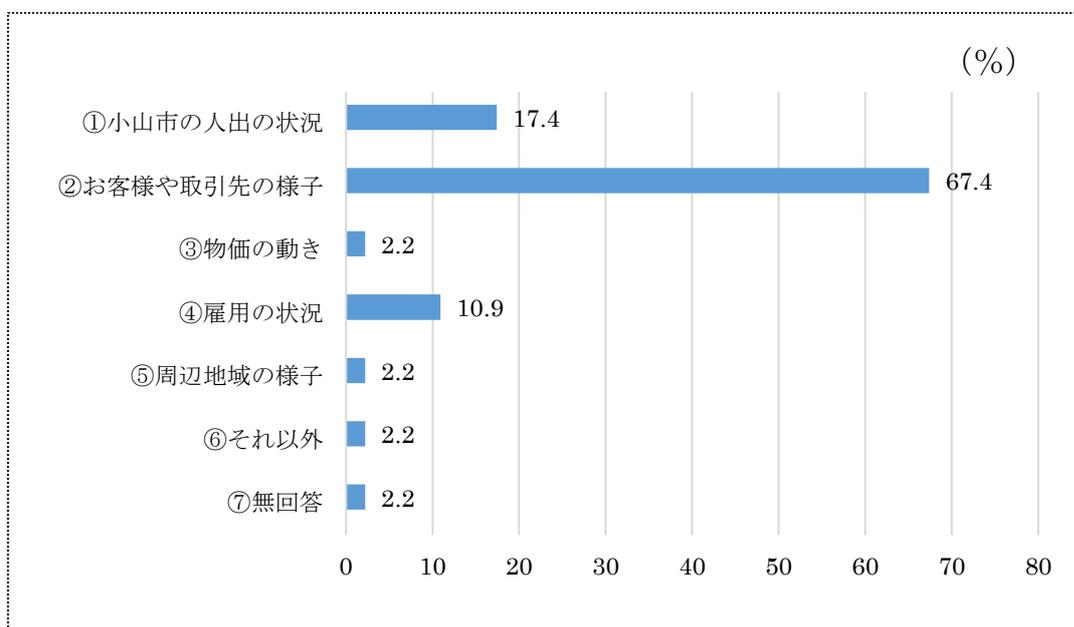
前回調査(平成 30 年 12 月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「やや悪い」(+23.7)

3%ポイント以上減少: 「やや良い」(-13.5)、「どちらともいえない」(-7.8)、「悪い」(-4.4)

DI 値: 44.5 (-7.1) に低下 (4 期ぶりに 50%未満)

(図表6) 質問2-1 質問1の回答の判断理由 (%)



(%)

質問1	質問2-1	①小山市の人出の状況	②お客様や取引先の様子	③物価の動き	④雇用の状況	⑤周辺地域の様子	⑥それ以外	無回答
良い		0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い		2.2	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
どちらともいえない		13.0	28.3	2.2	4.3	0.0	2.2	0.0
やや悪い		2.2	32.6	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0
悪い		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
計		17.4	67.4	2.2	10.9	2.2	2.2	2.2

(注) 46社に対する比率、複数回答があり、合計は100%にならない。

質問 2-2

質問 2-1 の具体的な回答内容

「やや良い」:

- ・「有効求人倍率の上昇が目立つ状況の通り、採用のニーズが高まっている。労働人口の減少もあるが、業務の拡大などの影響も考えられる。」(雇用の状況)
- ・「外注先の値上げの姿勢が強気であったため」(お客様や取引先の様子)

など

「どちらともいえない」:

- ・「消費者・取引先と両者ともに目立った変化がないため」(お客様や取引先の様子)
- ・「客数減・価格やや上昇によりトータルで横ばい」(物価の状況)

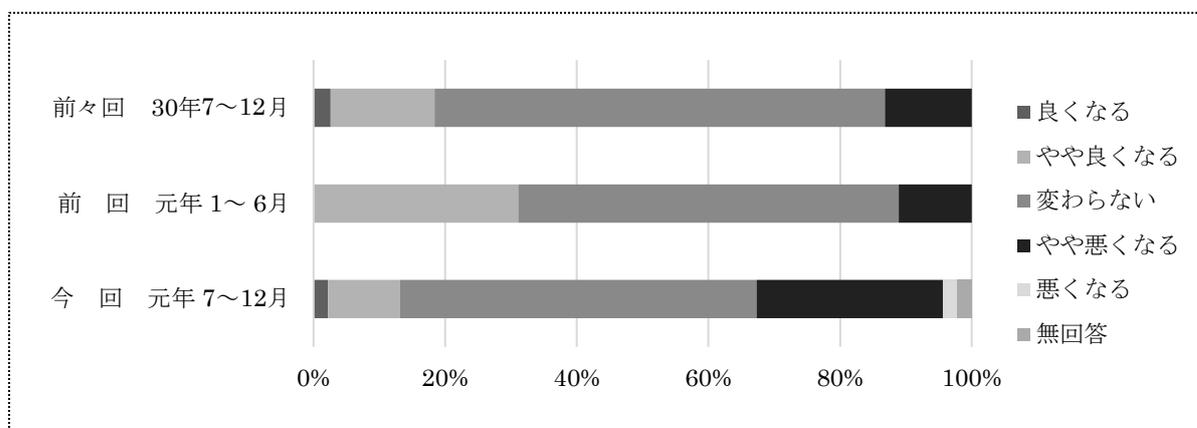
など

「やや悪い」:

- ・「来客数の減少」(小山市の人出の状況)
- ・「買い控えが目立つ」(お客様や取引先の状況)

など

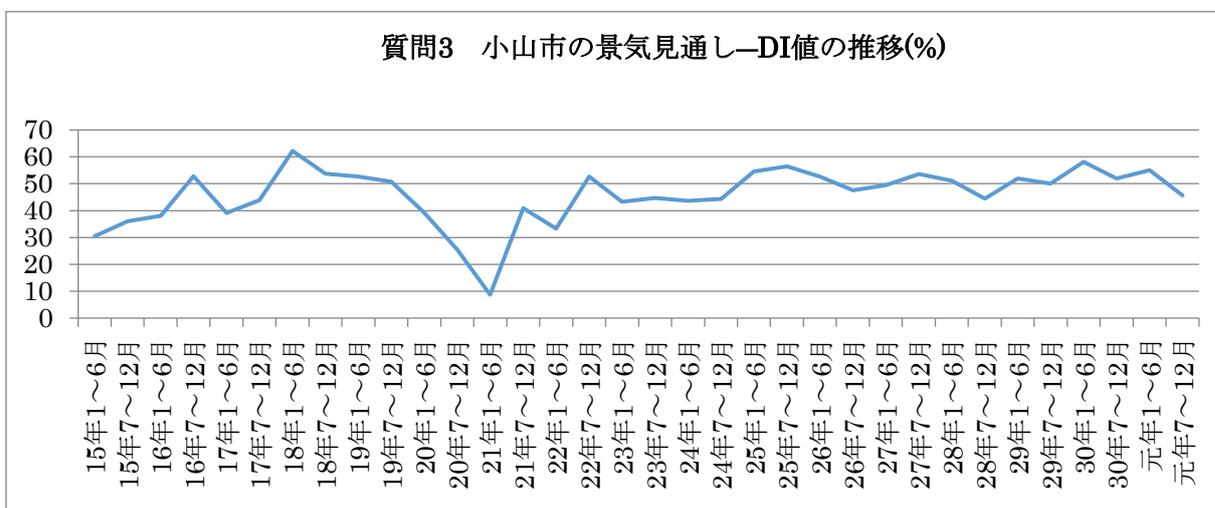
(図表 7) 質問 3 令和元年下半期 (7~12 月期) の小山市の景気見通し



(%)

見通しの対象時期	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	DI値
前々回 30年7~12月	2.6	15.8	68.4	13.2	0	0	52.0
前回 元年1~6月	0	31.1	57.8	11.1	0	0	55.0
今回 元年7~12月	2.2	10.9	54.3	28.3	2.2	2.2	45.6

(注) 年月は見通し対象時期。



前回調査(平成 30 年 12 月)に比べ、

3%ポイント以上増加 : 「やや悪くなる」 (+17.2)

3%ポイント以上減少 : 「やや良くなる」 (-20.2)、「変わらない」 (-3.5)

DI 値 : 45.6 (-9.4) に低下 (6 期ぶりに 50%未満)

質問4 質問3（小山市の景気の先行き見通し）の回答理由

「やや良くなる」：

- ・「大規模分譲などで人口の流入が期待できるため」
- ・「飲食店の新規開店」

など

「変わらない」：

- ・「消費税増税前駆け込み需要と増税後の減速により平均すると変わらない」
- ・「固定客は安定している」

など

「やや悪くなる」：

- ・「消費増税の影響」
- ・「色々な物の値段が上昇しており、そこに10月の消費税増税があるため、さらに消費者の節約志向が向上する」

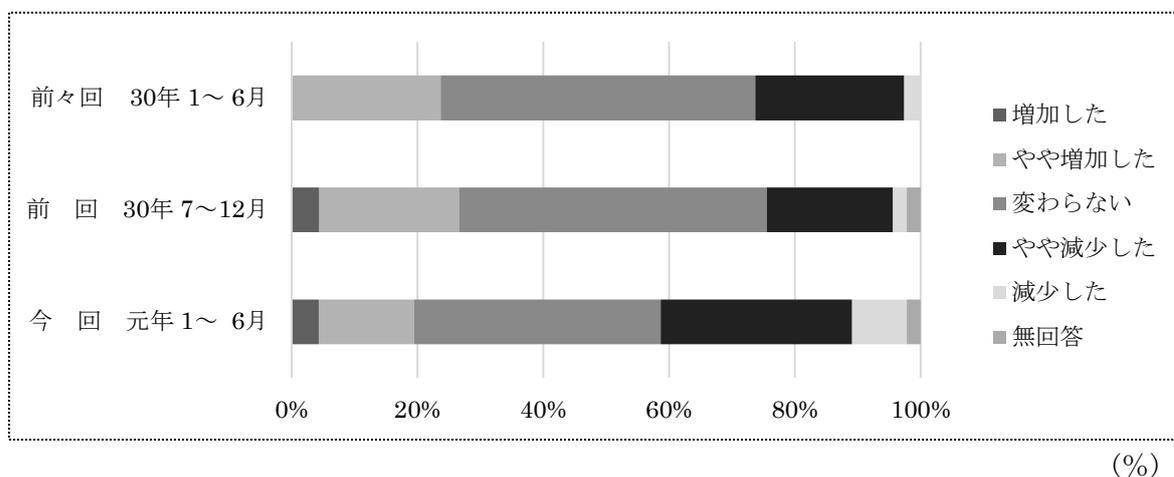
など

「悪くなる」：

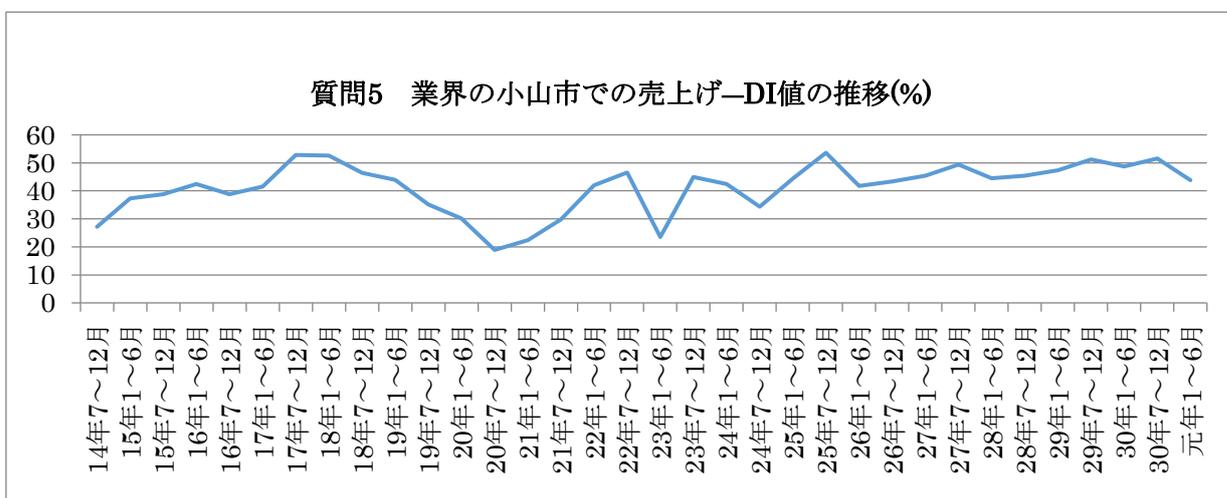
- ・「消費税がアップするため」

3-2) 小山市における業界の景気

(図表 8) 質問 5 業界の小山市での売上げ (売上金額の増減)



	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	無回答	DI値
前々回 30年 1～6月	0	23.7	50.0	23.7	2.6	0	48.7
前回 30年 7～12月	4.4	22.2	48.9	20.0	2.2	2.2	51.6
今回 元年 1～6月	4.3	15.2	39.1	30.4	8.7	2.2	43.8



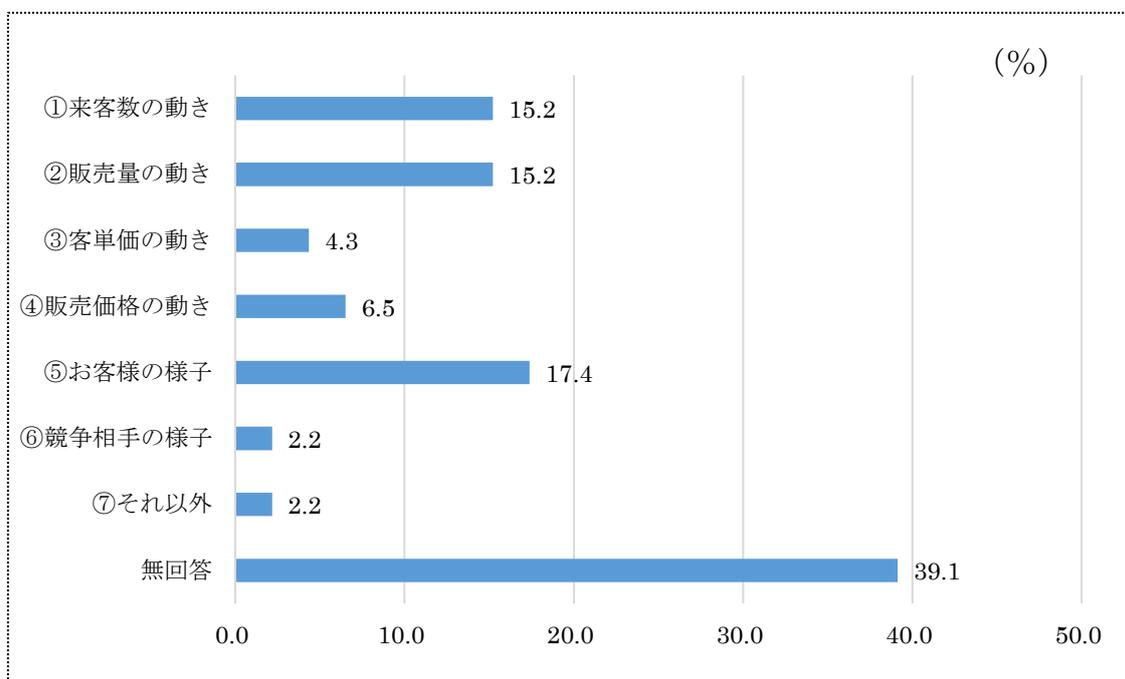
前回調査(平成 30 年 12 月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「やや減少した」(+10.4)、「減少した」(+6.5)

3%ポイント以上減少：「やや増加した」(-7.0)、「変わらない」(-9.8)

DI 値：43.8 (-7.8) に低下 (再び 50%未満に)

(図表 9) 質問 6-1 質問 5 の回答理由 (家計消費向け取引)



(%)

質問 6-1	来客数の動き	販売量の動き	客単価の動き	販売価格の動き	お客様の様子	競争相手の様子	それ以外	無回答*1
増加した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
やや増加した	2.2	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
変わらない	6.5	6.5	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	13.0
やや減少した	6.5	0.0	4.3	2.2	10.9	2.2	0.0	10.9
減少した	0.0	0.0	0.0	4.3	2.2	0.0	0.0	8.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2
計	15.2	15.2	4.3	6.5	17.4	2.2	2.2	39.1

(注) *1・・・無回答には家計向け売上のない企業(店舗)を含む。

46社に対する比率。複数回答があり、合計は100%にならない。

質問 6-2 具体的な回答 (家計消費向け取引)

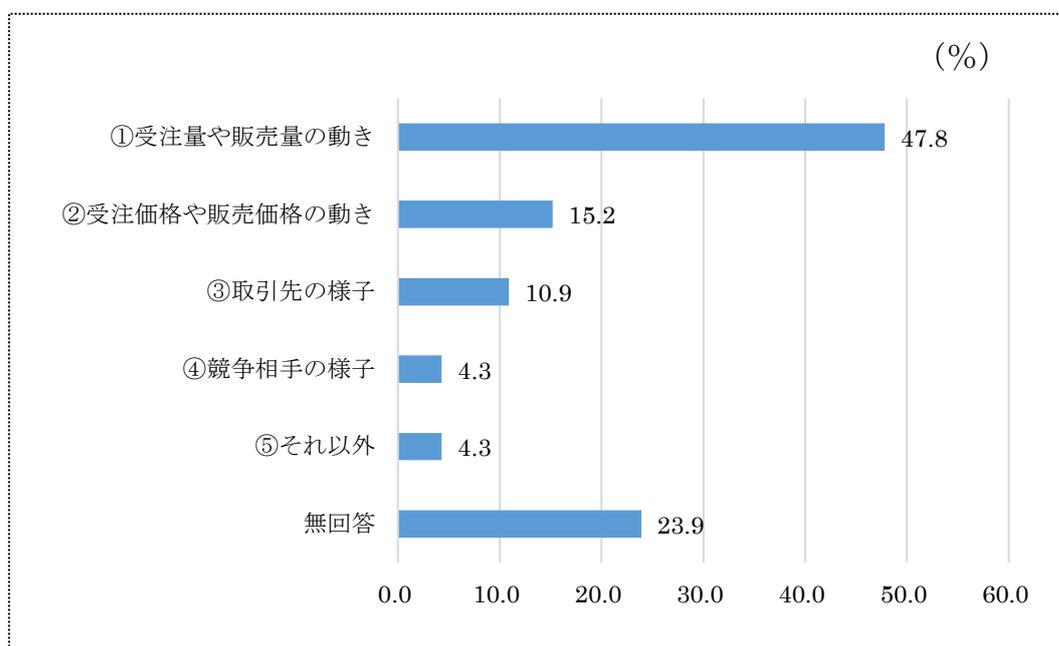
「増加した」:「消費税増税前の駆け込みがあった」(不動産・住宅業)

「やや増加した」:「新規契約件数の増加」(通信・放送業)

「変わらない」:「販売量が上がっていない」(製造業)

「やや減少した」:「来客数が減少している」(小売業)、
「原材料が値上げしたため」(印刷業) など

(図表 10) 質問 6-1 質問 5 の回答理由 (企業向け取引)



(%)

質問 6-1 質問 5	受注量や 販売量の動き	受注価格や 販売価格の動き	取引先の 様子	競争相手 の様子	それ以外	無回答 * 1
増加した	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
やや増加した	8.7	0.0	2.2	0.0	0.0	4.3
変わらない	21.7	4.3	4.3	0.0	2.2	8.7
やや減少した	10.9	8.7	0.0	2.2	0.0	8.7
減少した	4.3	2.2	4.3	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2
計	47.8	15.2	10.9	4.3	4.3	23.9

(注) * 1・・・無回答は企業向け取引のない企業(店舗)を含む。

46社に対する比率。複数回答があり、合計は100%にならない。

質問 6-2 具体的な回答 (企業向け取引)

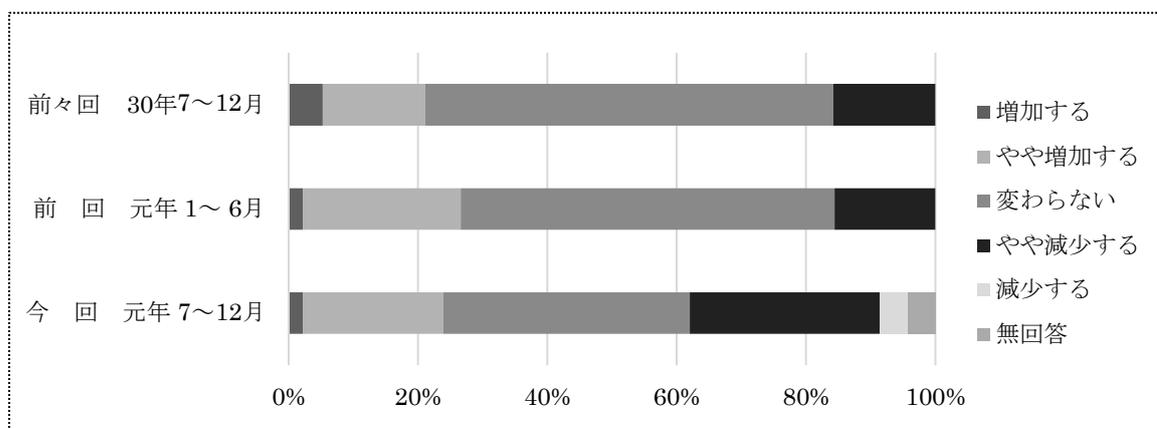
「やや増加した」:「業界としては多少プラスの動きが出てきている」(サービス業)

「変わらない」:「販売量が上がっていない」(製造業)

「やや減少した」:「原材料が値上がりしたため」(製造業)

「人員不足により減少」(製造業) など

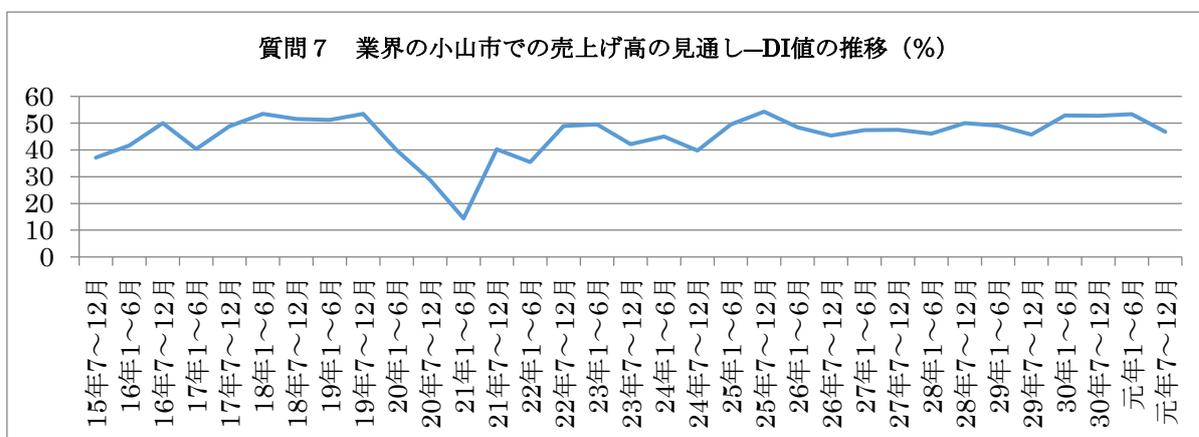
(図表 11) 質問 7 業界の小山市での売上高見通し



(%)

見通し対象時期	増加する	やや増加する	変わらない	やや減少する	減少する	無回答	DI値
前々回 30年7~12月	5.3	15.8	63.2	15.8	0	0	52.7
前回 元年1~6月	2.2	24.4	57.8	15.6	0	0	53.3
今回 元年7~12月	2.2	21.7	38.0	29.3	4.3	4.3	46.8

(注) 年月は見通し対象時期。



前回調査(平成 30 年 12 月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「やや減少する」(+13.7)、「減少する」(+4.3)
「無回答」(+4.3)

3%ポイント以上減少：「変わらない」(-19.8)

DI 値：46.8 (-6.5) に低下 (4 期ぶりの 50%未満)

質問 8 質問 7 の回答理由（自由記入）

「増加する」:

- ・「オリンピックに向けて、おもてなしの質を向上する企業が増えるため」
（企業向けサービス）

など

「やや増加する」:

- ・「事業エリアの拡張により」（通信・放送業）
- ・「増車し従業員を増やすため」（運送業）

など

「変わらない」:

- ・「先行予約の状況から」（ホテル・旅行業）
- ・「現状が急に回復するとは思えない」（製造業）

など

「やや減少する」:

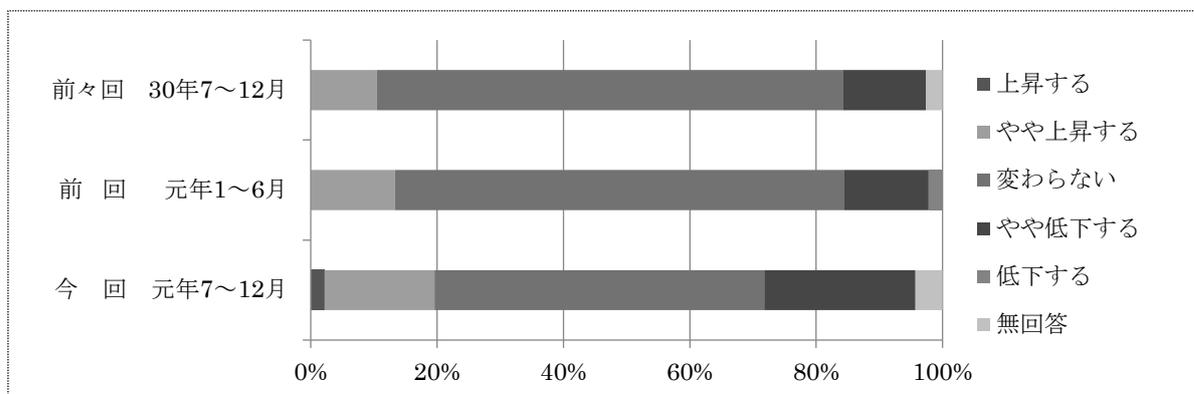
- ・「消費税増税の影響があると考える」（飲食業）
- ・「物価の上昇や消費税により家計が圧迫され利用者の乗り控えとなる」（運輸業（タクシー））
- ・「金利低下が続いており、金利収入減少見込み」（金融業）

など

「減少する」:

- ・「消費税増税導入後大きく減と予測する」（小売業）

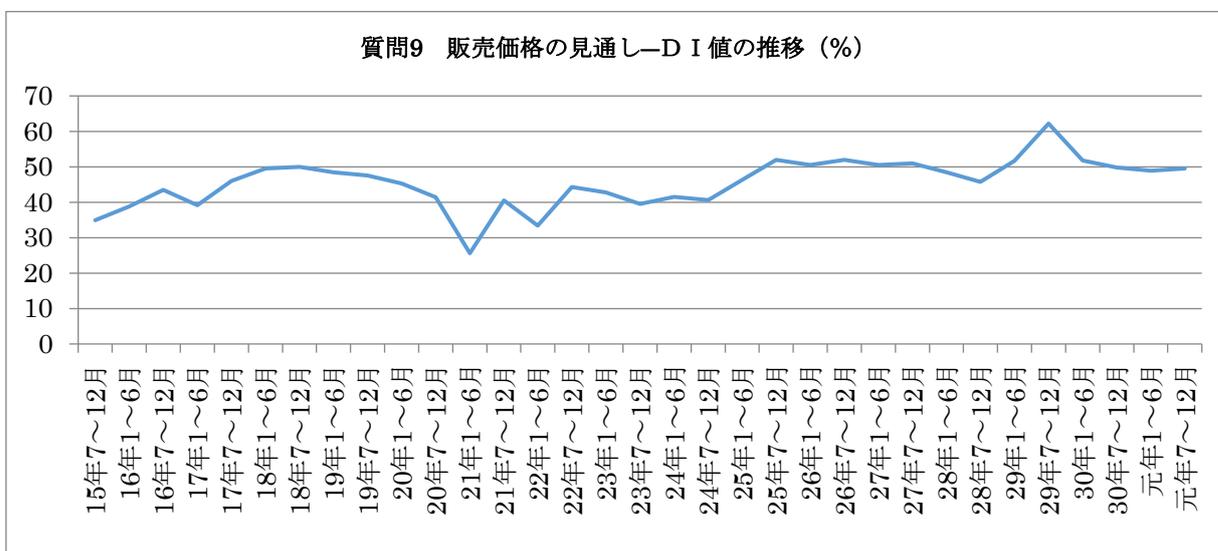
(図表 12) 質問9 令和元年下半期(7~12月期)の販売価格見通し



(%)

見通し対象時期	上昇する	やや上昇する	変わらない	やや低下する	低下する	無回答	DI値
前々回 30年7~12月	0	10.5	73.7	13.2	0	2.6	49.3
前回 元年1~6月	0	13.3	71.1	13.3	2.2	0	48.9
今回 元年7~12月	2.2	17.4	52.2	23.9	0	4.3	49.5

(注) 初回はこの見通し調査を行っていない。年月は見通し対象時期。



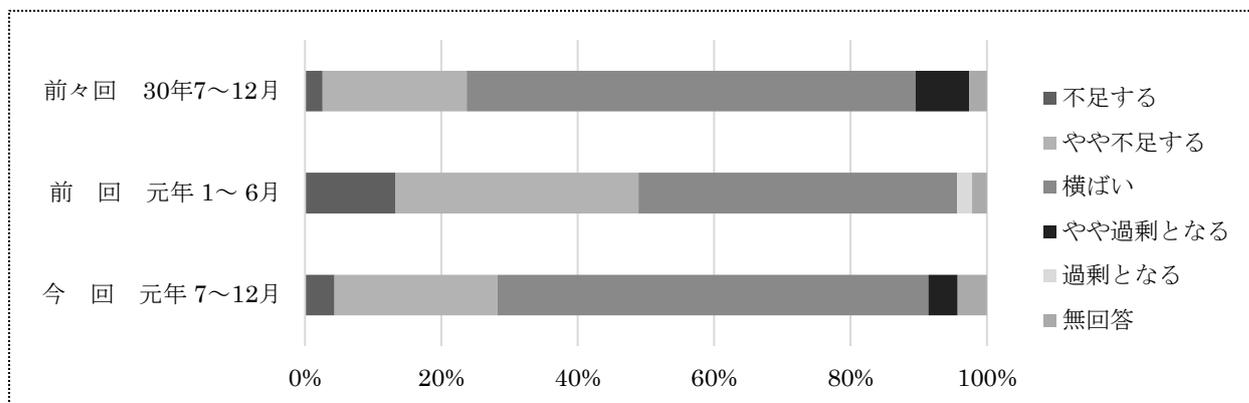
前回調査(平成30年12月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「やや低下する」(+10.6)、「やや上昇する」(+4.1)、「無回答」(+4.3)

3%ポイント以上減少: 「変わらない」(-18.9)

DI値: 49.5 (+0.6) (3期連続で50%以下)

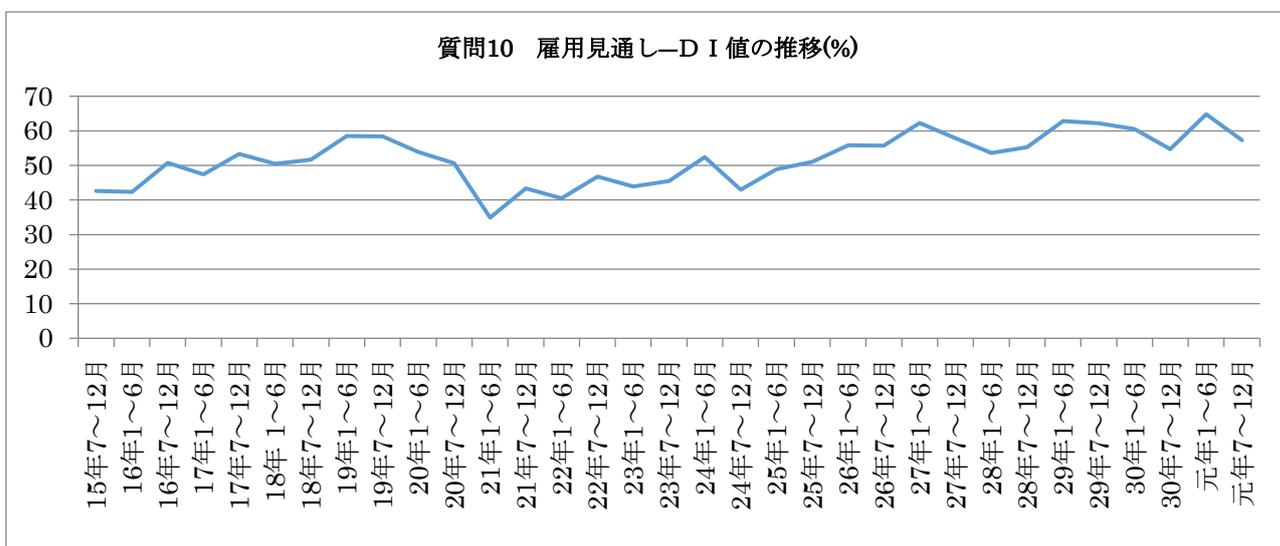
(図表 13) 質問 10 令和元年下半期 (7~12 月期) の雇用見通し



(%)

見通し対象時期	不足する	やや不足する	横ばい	やや過剰となる	過剰となる	無回答	DI値
前々回 30年7~12月	2.6	21.1	65.8	7.9	0	2.6	54.7
前回 元年1~6月	13.3	35.6	46.7	0	2.2	2.2	64.8
今回 元年7~12月	4.3	23.9	63.0	4.3	0	4.3	57.3

(注) 初回はこの見通し調査を行っていない。年月は見通し対象時期。



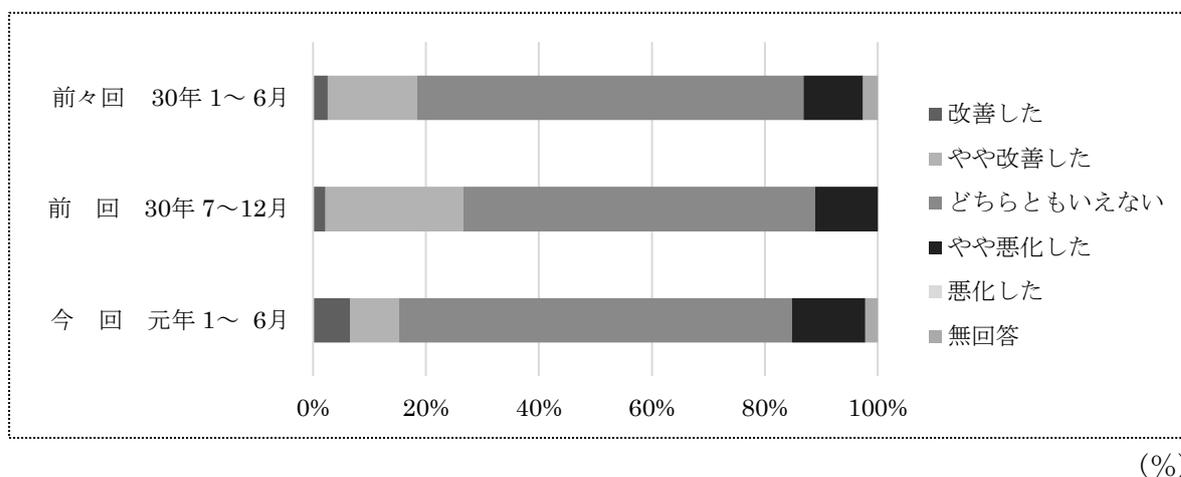
前回調査(平成 30 年 12 月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「横ばい」(+16.3)、「やや過剰となる」(+4.3)

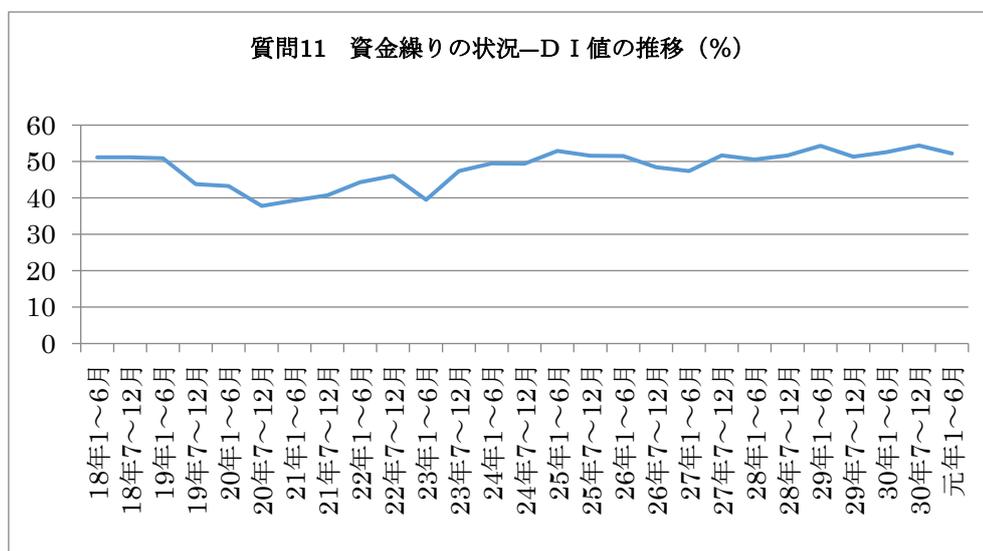
3%ポイント以上減少: 「やや不足する」(-11.7)、「不足する」(-11.0)

DI 値: 57.3 (-7.5) (2 期ぶりに 50%台)

(図表 14) 質問 11 令和元年上半期 (1~6 月期) 資金繰りの状況



	改善した	やや改善した	どちらともいえない	やや悪化した	悪化した	無回答	DI値
前々回 30年1~6月	2.6	15.8	68.4	10.5	0	2.6	52.6
前回 30年7~12月	2.2	24.4	62.2	11.1	0	0	54.4
今回 元年1~6月	6.5	8.7	69.6	13.0	0	2.2	52.2



(注) この調査項目は第8回 (平成18年6月) から調査している。

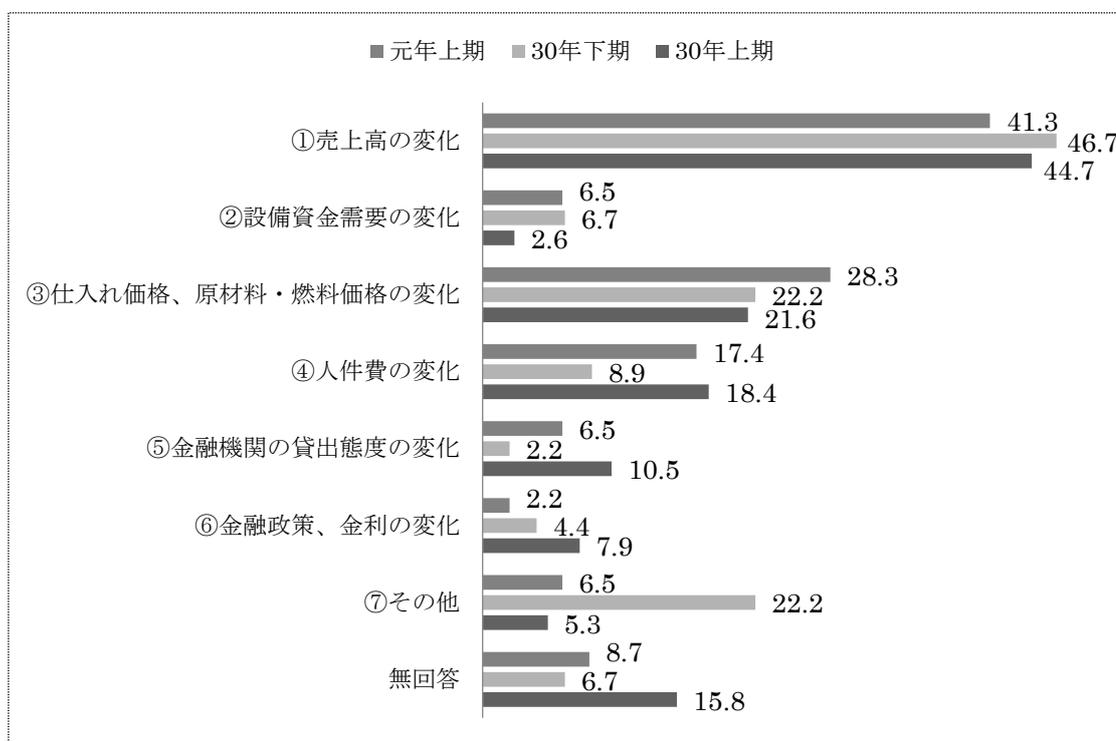
前回調査 (平成30年12月) に比べ、

3%ポイント以上増加 : 「改善した」 (+4.3)、「どちらともいえない」 (+7.4)

3%ポイント以上減少 : 「やや改善した」 (-15.7)

DI値 : 52.2 (-2.2) (8期連続で50%以上)

(図表 15) 質問 12 質問 11 の回答理由



(%)

質問 12	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答
質問 11								
改善した	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0
やや改善した	2.2	0.0	0.0	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0
どちらともいえない	32.6	4.3	21.7	10.9	2.2	2.2	4.3	4.3
やや悪化した	4.3	2.2	6.5	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2
悪化した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
合計	41.3	6.5	28.3	17.4	6.5	2.2	6.5	8.7

(注) 回収 46 社に対する比率%。複数回答のため、合計は 100 にならない。

前回調査（平成 30 年 12 月）に比べて

3%ポイント以上増加：④「人件費の変化」(+8.5)

③「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」(+6.1)

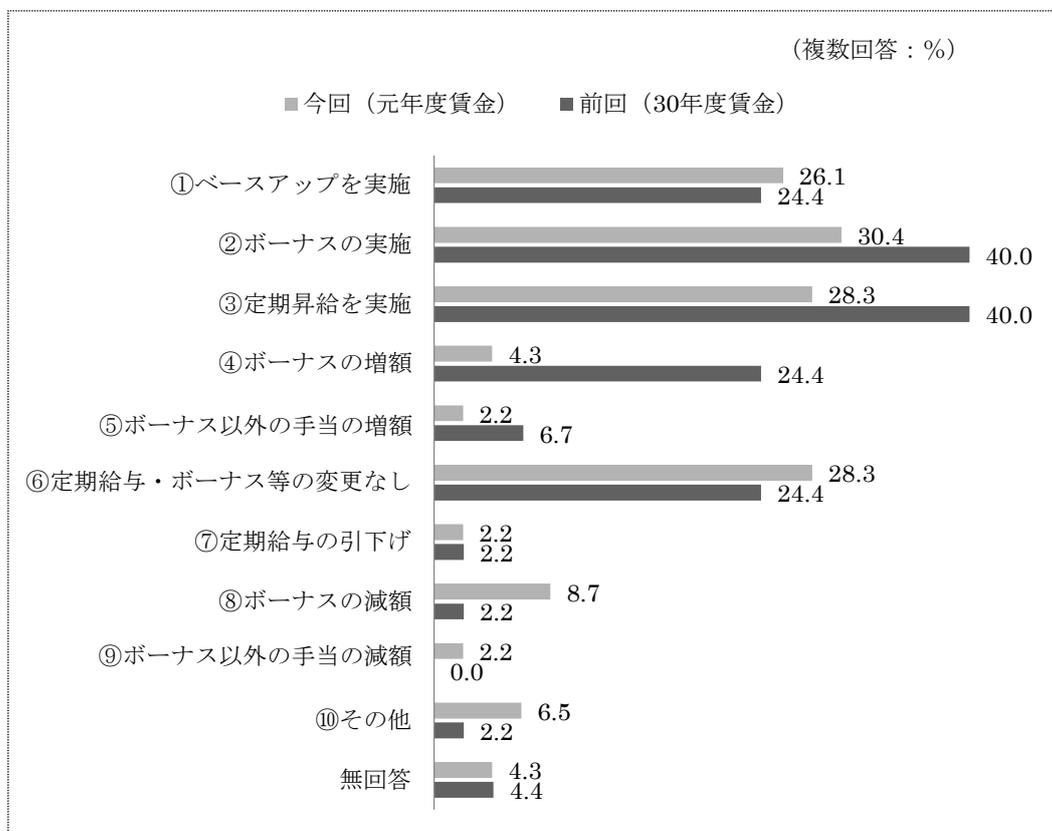
⑤「金融機関の貸出態度の変化」(+4.3)

3%ポイント以上減少：⑦「その他」(-15.7)

①「売上高の変化」(-5.4)

(注) ⑦「その他」の内容は、「持ち株会社の傘下に入るため」など

(図表 16) 質問 13 令和元年度の賃金等の状況



(注) 回収企業計に対する比率%。複数回答可のため、合計は100%にならない。

前回調査 (平成 30 年 12 月調査) との比較

(回答割合が 3%ポイント以上増加)

⑧ボーナスの減額	8.7% (+6.5)
⑩その他	6.5% (+4.3)
⑥定期給与・ボーナス等の変更なし	28.3% (+3.9)

(回答割合が 3%ポイント以上減少)

④ボーナスの増額	4.3% (-20.1)
③定期昇給を実施	28.3% (-11.7)
②ボーナスの実施	30.4% (-9.6)
⑤ボーナス以外の手当の増額	2.2% (-4.5)

質問 14 質問 13（複数回答）の回答理由

「ベースアップを実施」、「ボーナスの実施」、「定期昇給を実施」:

- ・「モチベーションアップのため」

「ボーナスの実施」、「定期昇給を実施」:

- ・「雇用確保のため」
- ・「社員の働きにできるだけ応えたい」

「ベースアップを実施」、「ボーナスの実施」、「ボーナスの減額」:

- ・「現状の売り上げ、利益、今後の見通しとも厳しい状況が見込まれるため」

「定期給与・ボーナス等の変更なし」:

- ・「売上げの状況から現状維持」

「定期給与の引下げ」、「ボーナスの減額」、「ボーナス以外の手当の減額」:

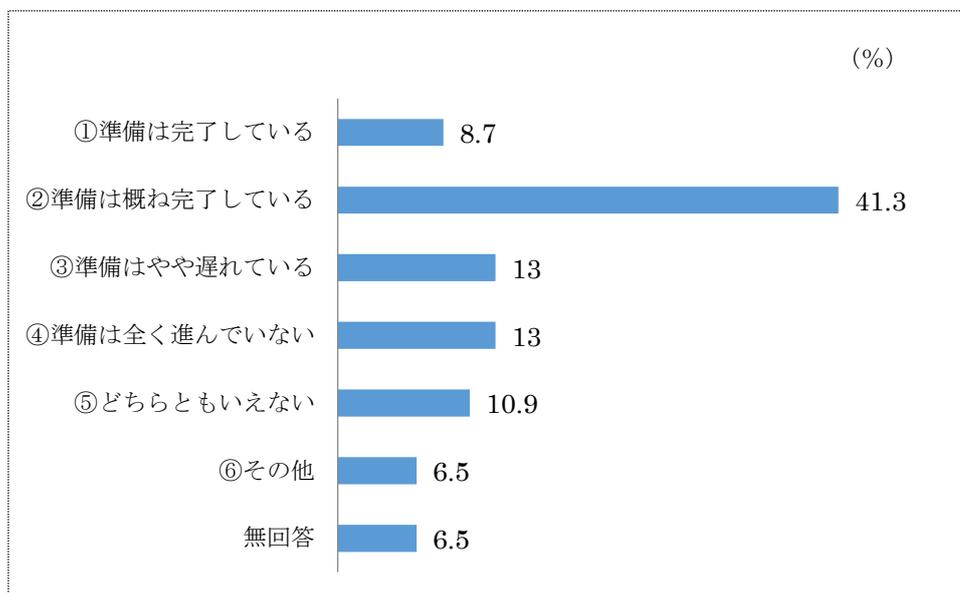
- ・「収入が少なくなったため」

「ボーナスの増額」:

- ・「従業員のモチベーション向上、退職の防止」

など

(図表 17) 質問 15 消費税率引上げと軽減税率導入への準備状況



(回答の多い順)

②準備は概ね完了している	41.3%
③準備はやや遅れている	13.0%
④準備は全く進んでいない	13.0%
⑤どちらともいえない	10.9%
①準備は完了している	8.7%
⑥その他	6.5%
無回答	6.5%

質問 16 消費税率引上げ、軽減税率の導入の際の課題

(質問 15 の回答項目別の主な回答)

「準備は完了している」:

- ・「問題はない」(小売業)
- ・「消費税率引上げにより初期投資の増額となり資金繰りが圧迫される」(住宅・不動産業)

など

「準備は概ね完了している」:

- ・「税金分を値引きしてほしいというお客様が増えると思うので対応を協議中」(印刷・出版業)
- ・「原材料価格上昇分を上乗せできるか」(小売業)
- ・「商品価格設定が難しくなる。イートインを設置しているため、持ち帰るか否かの判断、線引きが困難」(小売業)

など

「準備はやや遅れている」:

- ・「軽減税率で混乱する」(小売業)
- ・「2%原価アップ分を売上に転嫁できるか」(製造業)

など

「準備は全く進んでいない」:

- ・「売上げにどう影響するか？」(小売業)

など

「どちらともいえない」:

- ・「消費の落ち込み、経費増加」(製造業)
- ・「具体的内容がよくわからない」(製造業)

など

「その他」:

- ・「不明」(金融業、製造業)

など

II. まとめ

最近の日本経済の動きを GDP 統計速報（2次速報）で見ると、平成30年（暦年）の名目 GDP 成長率（2次速報）は0.7%と前年（1.7%）に比べ低下した。四半期別（季節調整済、前期比）で見ると、平成30年7～9月-0.5%、10～12月0.4%、31年1～3月1.0%、4～6月0.3%と10～12月以降の増加が続いているが、外需寄与度は平成30年7～9月-0.5%、10～12月-0.5%、平成31年1～3月0.9%、4～6月-0.4%とマイナスの寄与度の四半期が多くなっている。また、GDP デフレータの対前年変化率は平成30年（暦年）-0.1%、四半期別（季節調整済、前期比）では平成31年1～3月0.4%、4～6月-0.1%と横ばい気味の状況が続いている。

こうした状況のなか令和元年6月から7月にかけて実施した「小山市景気動向アンケート調査（令和元年度第1回）」の結果をみると、令和元年上半期（元年1～6月期）の小山市の景気の現状（水準）をきいた質問の回答では、「やや悪い」が増加し、「やや良い」が減少したことなどから、DI値³では44.5%と前回調査（平成30年12月、以下同じ）の51.6%から低下し、4期ぶりで50%未満となった。「やや悪い」という回答の理由としては、「来客数の減少」、「買い控えが目立つ」などがあがっている。また、回答割合の高い「どちらともいえない」という回答の理由としては、「消費者・取引先とも目立った変化がない」、「客数減・価格やや上昇により、トータルで横ばい」などがあがっている。小山市の景気の先行き（元年7～12月の見通し）については、前回調査に比べると、「やや悪くなる」が増加し、「やや良くなる」が減少したことなどからDI値では45.6%と前回（55.0%）から低下し、6期ぶりに50%未満となった。回答の理由としては、「やや悪くなる」と回答した企業では、「消費税増税の影響」「いろいろなモノの値段が上昇しており、そこに10月の消費税増税があるため、さらに消費者の節約志向が高まる」などが、「変わらない」と回答した企業では、「消費税増税前の駆け込みと増税後の減速により平均すると横ばい」、「固定客は安定している」などがあがっている。一方、「やや良くなる」と回答した理由では「大規模分譲などで人口の流入が期待できる」、「飲食店の新規開店」などがあがっている。

自己の企業や業界の売上金額の増減についての回答をみると、令和元年上半期（1～6月期）は平成30年下半期（7～12月期）に比べ「やや減少した」が増加し、「やや増加した」が減少したことなどから、DI値は43.8%と再び低下し、50%を下回った。「やや減少した」理由としては、「来客数が減少している」（小

³ 回答（%）の「良い」を1、「やや良い」を0.75、「どちらともいえない」を0.5、「やや悪い」を0.25、「悪い」を0として、構成比で加重平均したもの。

売業)、「原材料が値上げしたため」(印刷業)などがあがっている。先行き(来半期)の売上高見通しのD I 値は46.8%と前回(53.3%)より低下し、4期ぶりに50%を下回った。

令和元年下半期(7~12月期)の業界の販売価格の見通しについては、令和元年上半期(1~6月期)に比べて、「やや低下する」、「やや上昇する」がいずれも増加し、「変わらない」が減少したことなどから、D I 値では49.5%と前回(48.9%)からいくぶん上昇したものの、3期連続で50%を下回った。令和元年下半期(7~12月期)の雇用見通しについては、令和元年上半期(1~6月期)に比べて、「不足」、「やや不足」が減少し、「横ばい」、「やや過剰となる」が増加したことなどからD I 値は57.3%と前回(64.8%)から低下し、2期ぶりに50%台となった。なお、資金繰りの状況については、今回調査ではD I 値は52.2%と前回(54.4%)からやや低下したが、引続き50%を上回っている。また、令和元年度の賃金等の状況をみると、前回調査(平成30年度賃金)と比べて「ボーナスの減額」などが増加し、「ボーナスの増額」などは減少した。

今回のアンケート調査で追加した「消費税率引上げと軽減税率導入への準備状況」に関する質問については、「準備は概ね完了している」(41.3%)が4割を超えて一番多いものの、「準備は全く進んでいない」(13.0%)、「準備はやや遅れている」(13.0%)も併せて26%となっており、「準備は完了している」は8.7%であった。

以上のように、令和元年上半期(1~6月期)の小山市の景況感をみると、現状、先行きとも前回調査から悪化し、D I 値で50%を下回った。この背景としては、令和元年10月に予定されている消費税率引上げの影響への懸念とともに、製造業を中心に米中貿易摩擦の影響が出てきているためとみられる。今後、消費税率引上げの影響とともに、米中貿易摩擦の行方とその影響を注意深く見守る必要がある。

<参考資料1>

小山市景気動向アンケート調査 調査票（令和元年度第1回）

（2019年6月現在の状況でお答え下さい。4ページ目までご記入のほどよろしくお願ひ申し上げます。）

質問1 現在の小山市の景気についての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて2019年上半期（1～6月期）の景気は良いと思いますか、悪いと思いますか。（水準）

- ①良い ②やや良い ③どちらともいえない ④やや悪い ⑤悪い

質問2-1 質問1のご回答の理由として、どのような点に着目されましたか。もっとも適当と思われるものを一つ選んでください。「⑥それ以外」の場合は、その理由を（ ）内に記入して下さい。

- ①小山市の人出の状況 ②お客様や取引先の様子（購買態度など）
③物価の動き ④雇用の状況 ⑤周辺地域の様子
⑥それ以外（ ）

質問2-2 質問2-1の回答内容について具体的に説明してください。

質問3 小山市の景気の先行きについての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて、2019年下半期（7～12月期）の景気は、2019年上半期（1～6月期）と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。（将来の方向）

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

質問4 質問3でそのように回答した理由を教えてください。

質問5 貴店（貴社）の売上げ等からみて、貴業界の小山市における2019年上半期（1～6月期）の需要は季節的な要因を除いて、2018年下半期（7～12月期）にくらべて売上金額で増加したと思いますか。

- ①増加した ②やや増加した ③変わらない ④やや減少した ⑤減少した

質問 6-1 質問 5 でそのように回答された理由として、もっとも適当と思われるものを一つ選んでください。

(家計消費向け取引の場合)

- ①来客数の動き ②販売量の動き ③客単価の動き ④販売価格の動き
⑤お客様の様子 ⑥競争相手の様子 ⑦それ以外 ()

(企業向け取引の場合)

- ①受注量や販売量の動き ②受注価格や販売価格の動き ③取引先の様子
④競争相手の様子 ⑤それ以外 ()

質問 6-2 質問 6-1 の回答内容について具体的に説明してください。

質問 7 貴店(貴社)の売上げの動き等からみて、貴業界の小山市における 2019 年下半期 (7~12 月期) の売上高 (生産高) の見通しをお伺いします。2019 年上半期 (1~6 月期) と比べて、季節的要因を除いて、2019 年下半期 (7~12 月期) の売上高 (生産高)は増加すると思いますか。(売上高の先行き)

- ①増加する ②やや増加する ③変わらない ④やや減少する ⑤減少する

質問 8 質問 7 でそのように回答した理由を教えてください。

質問 9 貴店(貴社)の販売価格の動き等からみて、貴業界の小山市における 2019 年下半期 (7~12 月期) の販売価格の見通しをお伺いします。2019 年上半期 (1~6 月期) と比べて、2019 年下半期 (7~12 月期) の販売価格はどうなると思いますか。(価格見通し)

- ①上昇する ②やや上昇する ③変わらない ④やや低下する ⑤低下する

質問 10 貴店(貴社)の雇用(従業員)の状況等からみて、貴業界の小山市における 2019 年下半期 (7~12 月期) の雇用状況の見通しをお伺いします。2019 年上半期 (1~6 月期) と比べて、2019 年下半期 (7~12 月期) の雇用状況はどうなると思いますか。(雇用見通し)

従業員が

- ①不足する ②やや不足する ③横ばい ④やや過剰となる ⑤過剰となる

質問 11 貴店（貴社）あるいは貴業界における資金繰りの状況をお伺いします。貴店（貴社）の2019年上半期（1～6月期）における資金繰りは、2018年下半期（7～12月期）にくらべて改善しましたか、悪化しましたか。

- ①改善した ②やや改善した ③どちらともいえない ④やや悪化した ⑤悪化した

質問 12 質問 11 でそのように回答した理由をあげて下さい。（複数回答可）

- ①売上高の変化 ②設備資金需要の変化 ③仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化
④人件費の変化 ⑤金融機関の貸出態度の変化 ⑥金融政策、金利の変化
⑦その他（具体的に、）

質問 13 貴店（貴社）における令和元年度の主な従業員の賃金等の状況をお伺いします。
（あてはまるものすべてに○、複数回答）

- ①ベースアップを実施 ②ボーナスの実施 ③定期昇給を実施 ④ボーナスの増額
⑤ボーナス以外の手当の増額 ⑥定期給与・ボーナス等の変更なし
⑦定期給与の引下げ ⑧ボーナスの減額 ⑨ボーナス以外の手当の減額
⑩その他（）

質問 14 質問 13 でそのように回答した具体的内容・理由を記入して下さい。

質問 15 2019年10月に予定されている消費税率引上げと軽減税率導入についてお尋ねします。貴社（貴店）ではそのための準備は進んでいますか。

- ①準備は完了している ②準備は概ね完了している ③準備はやや遅れている
④準備は全く進んでいない ⑤どちらともいえない
⑥その他（）

質問 16 貴社（貴店）において、消費税率引上げ、軽減税率の導入の際の最大の課題は何ですか。具体的に記載して下さい。

〔フェースシート〕

小山市経済動向実態調査以外の目的には一切使用いたしませんので、下記の項目にご記入いただきますようお願い申し上げます。

1. 貴店(貴社)のお名前

2. 貴店(貴社)の業種(小山市にある事業所(店舗)で取り扱っている業種)

3. 貴店(貴社)の従業者数(小山市の事業所(店舗)における従業者)

4. 貴店(貴社)の年間売上げ(小山市の事業所(店舗)における売上げ(概数で結構です))

5. 貴店(貴社)の小山市の店舗(事業所)における売上げのうち、小山市内の企業、消費者からの需要の割合はおよそどのくらいですか。一つ選んで○をつけてください。
①80～100% ②60～80% ③40～60% ④20～40% ⑤0～20%

6. 調査の回答に関する連絡先

(お忙しいところご協力どうもありがとうございました。ご回答いただきました方には、次回調査時に今回の調査結果とともに、些少なながらクオカード(1000円)をお送りいたします。)

「小山市経済動向実態調査」

委託元 小山市産業観光部商業観光課

調査受託 白鷗大学ビジネス開発研究所

電話：0285-20-8900(大学・代表)

0285-20-8125(研究所)

Fax：0285-22-8989

調査担当(吉川、西谷、櫻庭)

<参考資料 2>

① 選択回答 1~7 (企業番号 1~30)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 5	質問 6		質問 7
					家計	企業	
1	2	4	2	2	5	1	2
2	3	2	2	4	4	2	4
3	2	4	2	3	—	2	3
4	3	2	3	3	—	1	3
5	3	2	3	3	5	1	3
6	4	2	3	3	5	—	4
7	3	1, 4, 5	4	3	—	5	3
8	3	2	3	2	2	—	2
9	4	2	3	4	3	—	3
10	4	2	4	4	5	—	4
11	2	2	3	5	—	1	4
12	4	2	5	4	—	2	3
13	—	—	—	—	—	—	—
14	3	2	3	3	2	—	3
15	4	2	4	4	—	1	2
16	4	2	4	4	1	1	4
17	3	1	3	1	—	1	2
18	4	2	4	5	—	2	5
19	4	1	3	4	1	2	3
20	3	1	4	4	—	1	4
21	3	1	3	3	1	—	3
22	4	2	4	3, 4	2	1	3, 4
23	4	2	3	5	—	3	4
24	3	2	4	3	1	1	4
25	4	4	3	2	1	1	2
26	3	2	3	1	7	4	2
27	3	2	3	3	5	3	2
28	4	2	4	4	3	—	3
29	3	2	4	2	—	1	3
30	4	2	3	5	—	1, 3	3

①選択回答 1～7（企業番号 31～46）

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 5	質問 6		質問 7
					家計	企業	
31	2	2	3	3	4	3	3
32	3	2	2	3	5	—	3
33	3	2	3	3	—	1	4
34	3	1	4	3	2	1	4
35	4	2, 5	4	4	1	—	4
36	4	2	3	3	—	1	3
37	3	2	3	3	5	1	2
38	4	2	3	4	—	1, 2	3
39	3	1	3	3	1	1	5
40	2	1	2	2	2	1	2
41	3	4	3	4	—	1	3
42	4	2	3	4	4, 6	2, 4	4
43	1	2	3	3	—	1	4
44	3	6	4	—	—	5	—
45	3	3	1	2	5	—	1
46	3	2	3	2	2	3	2

①選択回答9～15（企業番号1～30）

No.	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	質問 13	質問 15	売上割合
1	3	3	3	2, 4	10	2	2
2	2	3	3	4	3	2	2
3	3	3	3	3	1, 2, 3	2	5
4	2	2	1	5, 6	2, 3	1	5
5	3	3	3	1	2	6	1
6	4	2	2	5	1	4	3
7	3	3	3	1, 3	2, 3, 6	1	5
8	3	3	3	2	3	2	2
9	4	3	3	1	1	2	1
10	4	4	4	—	7, 8, 9	—	1
11	3	4	4	2, 3	2, 3	2	5
12	3	2	3	3	6	2	1
13	—	—	—	—	—	—	—
14	3	1	4	1, 4	6	—	5
15	3	3	3	1	10	5	1
16	3	3	4	3	6	2	1
17	2	2	1	7	1	2	3
18	4	3	3	1	6	4	2
19	2	2	2	4	1, 2, 3	3	3
20	4	2	3	5	1	3	2
21	3	3	3	7	6	4	1
22	3	3	3	1, 4	1	5	4
23	4	3	3	1	2, 3, 8	3	1
24	2	3	4	3	2, 3	2	1
25	3	2	3	3, 4	6	5	2
26	2	3	2	1	5	1	4
27	3	3	3	1	6	2	3
28	4	3	3	—	3	2	2
29	3	3	3	1	2, 3	2	4
30	3	3	3	—	1, 2, 8	1	4

①選択回答 9～15（企業番号 31～46）

No.	質問 9	質問 10	質問 11	質問 12	質問 13	質問 15	売上割合
31	3	—	3	—	—	2	1
32	4	2	3	7	6	4	1
33	4	3	3	3	4	2	1
34	3	3	3	6	6	5	1
35	3	2	3	1, 3	2, 3	3	—
36	3	3	3	1, 3, 4	6	6	—
37	2	3	3	1	2	2	3
38	3	3	3	1	10	5	2
39	3	2	3	3	1	2	—
40	2	2	1	1	1	2	2
41	3	1	3	1	1, 2, 4	4	5
42	4	3	4	4	8	3	1
43	4	3	3	1	1, 2	3	5
44	—	3	3	1	3	6	5
45	1	3	2	3	6	2	2
46	3	3	3	4	6	4	2

②記述回答 1・2 (企業番号 1~26)

No.	質問 1	質問 2-1	質問 2-1 その他の回答	質問 2-2
1	2	4		有効求人倍率の上昇が目立つ状況の通り、採用のニーズが高まっている。労働人口の減少もあるが、業務の拡大などの影響も考えられる。
2	3	2		事業所の売上が減少傾向にあるため
3	2	4		採用活動が困難
4	3	2		小売業・飲食店の新規出店が停滞している。
5	3	2		顧客の設備投資・売上推移状況等により
6	4	2		来客数の減少
7	3	1, 4, 5		派遣社員の応募状況・商業施設の活況度合
8	3	2		新規契約は順調に推移している
9	4	2		
10	4	2		客数がすくない
11	2	2		外注先の値上げの姿勢が強気であったため
12	4	2		
13	—	—		
14	3	2		これまでとあまり変化がない
15	4	2		新車を検討しているお客様の人数が少ないため
16	4	2		お客の年齢層が高くなって減少しているため
17	3	1		
18	4	2		消費税導入 (10%) により、さらに購買意欲の低下となる
19	4	1		来客数減少
20	3	1		小山駅及び来客の電話の本数をデータでみてのびてないため
21	3	1		各々のイベントなどで
22	4	2		販売量が思ったより上がらないからです
23	4	2		取引している業者に聞いても悪いとのこと
24	3	2		消費者・取引先と両者ともに目立った変化がないため
25	4	4		人材確保が難しい
26	3	2		小山市は人口が増えておりますが、展示場などの来場は昨年より減少しているため

②記述回答 1・2 (企業番号 27~46)

No.	質問 1	質問 2-1	質問 2-1 その他の回答	質問 2-2
27	3	2		
28	4	2		客単価の低下
29	3	2		特段の動き（増減）は感じられない
30	4	2		お客様や取引先の状況や報告から仕事が出ていない
31	2	2		商品のメーカー値上げが消費者に認められている
32	3	2		世間一般特別な動きがなく、平滑的な日常生活
33	3	2		投資意欲、業況業績は横ばい推移と思料
34	3	1		夜間の人出が少なく、閉店する飲食店が出てきた。
35	4	2, 5		どの SC. SM においてもいつもお客様が賑わっているという印象がない。ドラッグストアも含めてオーバーストアではないかと思える。
36	4	2		
37	3	2		購買状況
38	4	2		買い控えが目立つ
39	3	1		客数減・価格やや上昇によりトータルで横ばい
40	2	1		イベントの参加者数の増大
41	3	4		働く人の不足
42	4	2		飲食店での格差が出てきている。平日が悪い。
43	1	2		外注先への支払いが前年同様。10年前に比べ増加しているから。
44	3	6	あまり仕事がかかわっていない為	
45	3	3		日々の買い物より
46	3	2		

②記述回答 3・4 (企業番号 1~30)

No.	質問 3	質問 4
1	2	消費税の増税があるため
2	2	大規模分譲などで人口の流入が期待できるため
3	2	飲食店の新規開店
4	3	
5	3	
6	3	例年余り変化が少ない
7	4	消費税の影響が少なからずありそう
8	3	良くも悪くもなく推移している。
9	3	
10	4	
11	3	消費税増税前駆け込み需要と増税後の減速により平均すると変わらないと思います。
12	5	消費税がアップするため
13	—	
14	3	大きく変動する要因がない
15	4	消費税の影響があるため
16	4	消費増税の影響
17	3	
18	4	同上
19	3	
20	4	今後消費税アップがあると料金が上昇するが減客となる
21	3	
22	4	増税の影響はあると思います
23	3	
24	4	消費税増税が予定される中で消費者も必要なものそうでないものと購買意識に変化が生じると思うため
25	3	良くなる実感がない
26	3	消費税の増税もあり、購買態度は上がらない。悪くはならないと思う。
27	3	
28	4	外食支出の低下
29	4	10月からの消費税アップの影響は出てくると思う
30	3	現在の状況が急に回復すると期待できない

②記述回答 3・4 (企業番号 31~46)

No.	質問 3	質問 4
31	3	固定客は安定している。
32	2	消費税からみ
33	3	消費税増税を控え駆け込み需要は見込まれるが、増税後は反動減があるか。一方で消費税増税の影響は軽微ではとの声もあり
34	4	色々な物の値段が上昇しており、そこに 10 月の消費税増税があるため、さらに消費者の節約志向が向上する。
35	4	消費税増税
36	3	
37	3	売上の状況
38	3	消費税増税でも動きが見られないと思うし諸々値上げの告知をしても反応がない。
39	3	消費税増税導入後購買減
40	2	増えているため
41	3	よくも悪くも、きっかけとなる材料がないかと思う。
42	3	良くなる要因が見当たらない
43	3	前年度に比べるとピークは過ぎたように感じるから。
44	4	消費税導入による
45	1	良くなってほしいから
46	3	

②記述回答 5・6（企業番号 1～25）

No.	質問 5	質問 6-1		質問 6-1 その他の回答	質問 6-2
		家計	企業		
1	2	5	1		1月～3月は年間の計画から見ても需要が高い部分もあるが、例年と比較しても実績が上がっているため。
2	4	4	2		売上減
3	3	—	2		原材料アップ分を価格転嫁できない
4	3	—	1		
5	3	5	1		
6	3	5	—		業種的に固定客を確保する様努力している。
7	3	—	5		
8	2	2	—		新規契約件数の増加
9	4	3	—		
10	4	5	—		客数が少なくなった
11	5	—	1		取引先の受注量が減少した。
12	4	—	2		原材料が値上げしたため
13	—	—	—		
14	3	2	—		先行きに明るい話など変動要素なし
15	4	—	1		去年の同時期に比べると減少したため
16	4	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・来客数が減少している ・企業からの注文回数が減っている
17	1	—	1		
18	5	—	2		
19	4	1	2		売上やや減少
20	4	—	1		来客の電話数がのびていないため
21	3	1	—		従業者の高齢化などで活気がない
22	3, 4	2	1		販売量が上がっておりません。
23	5	—	3		
24	3	1	1		新規の取引先、お客さんがほぼないため
25	2	1	1		

②記述回答 5・6 (企業番号 26～46)

No.	質問 5	質問 6-1		質問 6-1 その他の回答	質問 6-2
		家計	企業		
26	1	7	4	消費増税前の 駆け込み需要 あり	住宅は消費税増税前の購入を確実にす るため3月の受注が増加した
27	3	5	3		
28	4	3	—		低価格の部屋から予約が入る
29	2	—	1		業界としては多少プラスの動きが出て きている。
30	5	—	1, 3		2018年後半以降特に2019年より顧客か らの受注、引き合いが大幅に減少して現 在もその状況が続いている。
31	3	4	3		値上げが認められている
32	3	5	—		2%の増税をまだ真剣にとらえてい ない
33	3	—	1		特段の変動なし
34	3	2	1		
35	4	1	—		競合店増加
36	3	—	1		
37	3	5	1		
38	4	—	1, 2		
39	3	1	1		ギフト件数減
40	2	2	1		
41	4	—	1		人員不足により減少
42	4	4, 6	2, 4		消費がにぶっているので価格が下がっ ている。
43	3	—	1		前年が良かったので量は変わらないが、 今後は減少傾向にある。
44	—	—	5		
45	2	5	—		会話をしている程度
46	2	2	3		

②記述回答 7・8 (企業番号 1～31)

No.	質問 7	質問 8
1	2	消費税の増税の影響があるため
2	4	消費税増税の影響があると考え
3	3	現在の状況が続くため
4	3	
5	3	
6	4	消費税の導入の後での影響
7	3	市内向売上なし
8	2	事業エリアの拡張により
9	3	
10	4	
11	4	引き続き取引先の受注量が減少する見込みのため
12	3	
13	—	
14	3	先行きに明るい話がない
15	2	HONDA 車の新型車 (N-WGN) が販売されるため増加すると思う。
16	4	消費税の影響を受けると思う。
17	2	増車し従業員を増やすため
18	5	
19	3	
20	4	景気が下降状況になっているため
21	3	アウトサイダー店と組合員との料金体系など
22	3, 4	増税の影響
23	4	
24	4	
25	2	ハトムギ 100 オプロジェクトの関連商品の売り上げアップ
26	2	今後、小山市内に不動産仕入れを強化していくため売り上げは増加すると予想
27	2	
28	3	先行予約の状況から
29	3	上半期以上のアップは難しいと思う
30	3	現状が急に回復するとは思えない。
31	3	年内の仕事はできるだけ 9 月末日にまとめている。

②記述回答 7・8 (企業番号 32～46)

No.	質問 7	質問 8
32	3	特別の変化なし
33	4	金利低下が続いており、金利収入減少見込み。金利収入以外は 2019 年上半期比同水準で推移する見通し。
34	4	物価の上昇や消費増税により家計が圧迫され利用者の乗り控えとなる。
35	4	競合店増加、空床見込
36	3	
37	2	営業の状況
38	3	何にでも反応が薄いのでわからない
39	5	消費税増税導入後大きく減と予測します
40	2	量の増大
41	3	
42	4	価格競争が激化し、デフレ傾向になっている。
43	4	前年の反動でこれ以上の増加は見込んでいないため
44	—	
45	1	オリンピックに向けて、おもてなしの質を向上する企業様が増えるため
46	2	

②記述回答 11・12 (企業番号 1～32)

No.	質問 11	質問 12	質問 12 その他の回答
1	3	2, 4	
2	3	4	
3	3	3	
4	1	5, 6	
5	3	1	
6	2	5	
7	3	1, 3	
8	3	2	
9	3	1	
10	4	—	
11	4	2, 3	
12	3	3	
13	—	—	
14	4	1, 4	
15	3	1	
16	4	3	
17	1	7	M/A して持株会社の傘下に入るため
18	3	1	
19	2	4	
20	3	5	
21	3	7	不変
22	3	1, 4	
23	3	1	
24	4	3	
25	3	3, 4	
26	2	1	
27	3	1	
28	3	—	
29	3	1	
30	3	—	
31	3	7	資金繰りの心配は不要です。
32	3	3	

②記述回答 11・12 (企業番号 33～46)

No.	質問 11	質問 12	質問 12 その他の回答
33	3	6	
34	3	1, 3	
35	3	1, 3, 4	
36	3	1	
37	3	1	
38	3	3	
39	3	1	
40	1	1	
41	3	4	
42	4	1	
43	3	1	
44	3	3	
45	3	2, 4	
46	3	3	

②記述回答 13・14（企業番号 1～30）

No.	質問 13	質問 13 その他の回答	質問 14
1	10		特に変化なし
2	3		人員不足のため、既存の従業員の離職を防ぐため
3	1, 2, 3		モチベーションアップのため
4	2, 3		
5	2		
6	1		最低賃金の引き上げにより
7	2, 3, 6		業況（'18～'19）に見合った水準としている
8	3		例年通り昇給を実施
9	1		
10	7, 8, 9		収入が少なくなったため
11	2, 3		雇用確保のため
12	6		
13	—		
14	6		売上の状況から現状維持
15	10		経営陣ではないので回答できません。
16	6		厳しいながらも何とかやりくりしています。
17	1		待遇の見直しにより従業員確保する
18	6		
19	1, 2, 3		
20	1		能力・努力内容によってベースアップをした
21	6		売上に変化なし
22	1		物価が上がっているのでベースアップした
23	2, 3, 8		業績が悪いため
24	2, 3		法人の給与規程に従っているため
25	6		売上額の変化なし（上がれば分配予定）
26	5		売上が伸びることで各人の歩合手当が増加する。
27	6		
28	3		他社との比較に対応した
29	2, 3		社員の働きにできる限り応えたい
30	1, 2, 8		現状の売り上げ、利益、今後の見通しとも厳しい状況が見込まれるため。

②記述回答 13・14（企業番号 31～46）

No.	質問 13	質問 13 その他の回答	質問 14
31	—		
32	6		会社規定及び業績の変化なし
33	4		従業員のモチベーション向上、退職の防止
34	6		人手不足の深刻化や原油価格の上昇消費増税の影響など不透明感が増している。
35	2, 3		
36	6		
37	2		年 2 回のボーナス
38	10	なし	ボーナスなし一度も
39	1		雇用状況悪化により賃金等での見直しをはかる
40	1		
41	1, 2, 4		現在の従業員の維持の為
42	8		昇給はなし、ボーナスももち代程度
43	1, 2		人手不足の為若手従業員の賃金増加に伴い、調整として全体的にベースアップしたため。
44	3		
45	6		
46	6		

②記述回答 15・16（企業番号 1～28）

No.	質問 15	質問 15 その他の回答	質問 16
1	2		増税後の対応
2	2		消費が冷え込む中に同等の売上と利益の確保
3	2		システム対応でコストかかる
4	1		問題はありません
5	6	不明	
6	4		売り上げにどう影響するか？
7	1		会計処理
8	2		特になし
9	2		
10	—		
11	2		特になし
12	2		税金分を値引きしてほしいというお客様が増えると思うので対応を協議中
13	—		
14	—		売り上げ減少に伴う収益悪化
15	5		販売台数の減少
16	2		原材料価格上昇分を上のおせできるか。
17	2		消費税は、運送業はニュートラルだと思います
18	4		
19	3		
20	3		料金の下限上限を決定するが、9月が初旬なのでそれにて決定する。
21	4		
22	5		消費の落ち込み、経費増加
23	3		
24	2		・商品価格設定が難しくなる・イートインを設置しているため、持ち帰るか否かの判断、線引きが困難
25	5		具体的な内容がよくわからないため
26	1		消費税率上げにより、初期投資の増額となり、資金繰りが圧迫される
27	2		
28	2		外食離れの進行

②記述回答 15・16（企業番号 29～46）

No.	質問 15	質問 15 その他の回答	質問 16
29	2		特段の課題はない
30	1		消費税の支払額の増加による資金繰りの悪化
31	2		現金取引で進めます。
32	4		社会福祉のため、必要と思いますのですべて受入れいたします。
33	2		顧客が支払うコスト増加。
34	5		車両の運賃メーターの取り換え費用、消費税引き上げ後の利用者の乗り控え。
35	3		軽減税率対応（イトイン時のレジ）
36	6	該当せず	
37	2		導入後の消費動向
38	5		特にない
39	2		導入後数か月間の客購買動向（衣料品・暮らしの品減）
40	2		
41	4		税負担
42	3		軽減税率などというくだらないことをやるから混乱する。
43	3		2%原価アップ分を売上げに転嫁できるか。
44	6	関係ない	不明
45	2		
46	4		

<参考資料3>

質問1 小山市の景気の現状（水準）

	良い	やや 良い	どちらとも いえない	やや 悪い	悪い	無回答	D I 値
今回 平成31年 1～6月	2.2	10.9	47.8	37.0	0	2.2	44.5
前回 30年 7～12月	2.2	24.4	55.6	13.3	4.4	0	51.6
前々回 30年 1～6月	0	31.6	55.3	10.5	0	2.6	55.4
第31回 29年 7～12月	0	32.6	58.1	4.7	4.7	0	54.7
第30回 29年 1～6月	0	17.0	59.6	19.1	4.3	0	47.3
第29回 28年 7～12月	0	14.6	47.9	31.3	6.3	0	42.7
第28回 28年 1～6月	0	9.3	64.8	20.4	5.6	0	44.5
第27回 27年 7～12月	0	21.7	56.5	21.7	0	0	50.0
第26回 27年 1～6月	0	22.4	49.0	20.4	8.2	0	46.4
第25回 26年 7～12月	0	10.9	50.0	32.6	6.5	0	42.7
第24回 26年 1～6月	2.0	16.0	54.0	16.0	8.0	4.0	46.9
第23回 25年 7～12月	2.0	28.6	49.0	16.3	4.1	0	52.0
第22回 25年 1～6月	0	18.5	48.1	31.5	1.9	0	45.8
第21回 24年 7～12月	0	4.1	44.9	34.7	16.3	0	34.2
第20回 24年 1～6月	0	14.6	29.2	43.7	12.5	0	36.7
第19回 23年 7～12月	1.8	9.2	25.5	45.5	18.0	0	32.8
第18回 23年 1～6月	0	1.9	15.4	50.0	30.8	1.9	22.0
第17回 22年 7～12月	0	6.7	33.3	40.0	20.0	0	31.7
第16回 22年 1～6月	0	10.4	27.1	39.6	22.9	0	31.3
第15回 21年 7～12月	0	2.1	4.2	41.7	52.0	0	14.1
第14回 21年 1～6月	0	1.8	1.8	38.6	57.8	0	11.9
第13回 20年 7～12月	0	0	4.3	36.2	59.5	0	11.2
第12回 20年 1～6月	0	2.2	13.3	66.7	17.8	0	25.0
第11回 19年 7～12月	0	0	38.3	53.2	8.5	0	32.5
第10回 19年 1～6月	0	23.1	45.2	27.9	3.8	0	46.9
第9回 18年 7～12月	0	20.8	35.4	33.3	10.5	0	41.6
第8回 18年 1～6月	0	25.5	53.2	14.9	6.4	0	49.5
第7回 17年 7～12月	0	28.9	44.4	22.2	4.5	0	49.4
第6回 17年 1～6月	0	14.6	29.3	51.0	5.1	0	38.4
第5回 16年 7～12月	0	12.5	27.5	42.5	17.5	0	33.8
第4回 16年 1～6月	0	16.7	38.1	33.3	11.9	0	39.9

質問1 小山市の景気の現状（水準）

		良い	やや 良い	どちらとも いえない	やや 悪い	悪い	無回答	D I 値
第3回	15年7～12月	0	12.0	18.0	40.0	30.0	0	28.0
第2回	15年1～6月	1.6	0	16.4	44.3	37.7	0	20.9
初回	14年7～12月	0	1.2	7.4	37.0	54.4	0	13.9

質問3 小山市の景気の先行き（来半期見通し）

見通し対象時期	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	D I 値
今回 令和元年7～12月	2.2	10.9	54.3	28.3	2.2	2.2	45.6
前回 平成31年1～6月	0	31.1	57.8	11.1	0	0	55.0
前々回 30年7～12月	2.6	15.8	68.4	13.2	0	0	52.0
第31回 30年1～6月	0	39.5	53.5	7.0	0	0	58.1
第30回 29年7～12月	0	19.1	63.8	14.9	2.1	0	50.0
第29回 29年1～6月	0	24.5	61.2	12.2	2.0	0	52.0
第28回 28年7～12月	1.9	11.1	53.7	29.6	3.7	0	44.5
第27回 28年1～6月	0	21.7	60.9	17.4	0	0	51.1
第26回 27年7～12月	0	30.6	55.1	12.3	2.0	0.0	53.6
第25回 27年1～6月	0	26.1	45.7	21.7	4.3	2.2	48.9
第24回 26年7～12月	0	24.0	46.0	26.0	4.0	0	47.5
第23回 26年1～6月	4.1	28.6	42.9	22.4	2.0	0	52.6
第22回 25年7～12月	1.9	37.0	50.0	7.4	3.7	0	56.5
第21回 25年1～6月	2.0	36.7	42.9	14.3	4.1	0	54.6
第20回 24年7～12月	0	20.8	43.8	27.1	8.3	0	44.3
第19回 24年1～6月	0	16.4	47.3	27.3	7.3	1.7	43.6
第18回 23年7～12月	3.8	21.2	38.5	23.1	13.4	0	44.7
第17回 23年1～6月	0	6.7	64.4	24.4	4.5	0	43.3
第16回 22年7～12月	2.1	29.2	52.1	6.3	8.3	2.0	52.7
第15回 22年1～6月	0	8.3	37.5	33.3	20.9	0	33.3
第14回 21年7～12月	1.8	17.5	36.8	27.2	14.9	1.8	40.9
第13回 21年1～6月	0	0	10.6	12.8	74.5	2.1	8.7
第12回 20年7～12月	0	2.2	13.3	68.9	15.6	0	25.5
第11回 20年1～6月	0	8.5	42.6	42.6	4.3	2	39.1
第10回 19年7～12月	1.9	19.2	58.7	20.2	0	0	50.7
第9回 19年1～6月	2.1	25.0	58.3	10.4	4.2	0	52.6
第8回 18年7～12月	0	31.9	51.1	17.0	0	0	53.7
第7回 18年1～6月	2.2	51.1	40.0	6.7	0	0	62.2
第6回 17年7～12月	0	17.1	48.8	26.8	7.3	0	43.9
第5回 17年1～6月	0	9.8	41.5	43.9	4.8	0	39.1
第4回 16年7～12月	0	33.3	50.0	11.1	5.6	0	52.8
第3回 16年1～6月	0	18.0	32.0	34.0	16.0	0	38.0

質問3 小山市の景気の先行き（来半期見通し）

見通し対象時期	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	D I 値
第2回 15年7～12月	1.6	3.3	47.5	32.8	14.8	0	36.0
初回 15年1～6月	0	8.6	30.9	30.9	27.2	2.4	30.4

質問5 業界の小山市における売上（売上金額の増減）

	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	無回答	D I 値
今回 平成 31 年 1～6 月	4.3	15.2	39.1	30.4	8.7	2.2	43.8
前回 30 年 7～12 月	4.4	22.2	48.9	20.0	2.2	2.2	51.6
前々回 30 年 1～6 月	0	23.7	50.0	23.7	2.6	0	48.7
第 31 回 29 年 7～12 月	2.3	25.6	51.2	16.3	4.7	0	51.2
第 30 回 29 年 1～6 月	2.1	14.9	55.3	25.5	2.1	0	47.3
第 29 回 28 年 7～12 月	0	10.2	59.2	28.6	2.0	0	45.4
第 28 回 28 年 1～6 月	0	20.4	44.4	24.1	11.1	0	44.5
第 27 回 27 年 7～12 月	0	23.9	50.0	21.7	4.3	0	49.4
第 26 回 27 年 1～6 月	2.0	16.3	47.0	26.5	6.1	2.0	45.4
第 25 回 26 年 7～12 月	2.2	10.9	47.8	32.6	6.5	0.0	43.3
第 24 回 26 年 1～6 月	2.0	22.0	30.0	30.0	14.0	2.0	41.8
第 23 回 25 年 7～12 月	8.2	30.6	36.7	16.3	8.2	0	53.6
第 22 回 25 年 1～6 月	1.9	18.5	37.0	37.0	3.7	1.9	44.4
第 21 回 24 年 7～12 月	0	10.2	36.7	30.6	20.4	2.1	34.3
第 20 回 24 年 1～6 月	2.1	20.8	33.3	29.2	14.6	0	42.4
第 19 回 23 年 7～12 月	7.3	27.3	18.2	29.1	16.3	1.8	45.0
第 18 回 23 年 1～6 月	0	3.8	17.3	46.2	30.8	1.9	23.5
第 17 回 22 年 7～12 月	4.4	20.0	42.2	24.4	9.0	0	46.6
第 16 回 22 年 1～6 月	2.1	20.8	33.3	27.1	14.6	2.1	42.0
第 15 回 21 年 7～12 月	2.1	4.2	29.2	39.6	24.9	0	29.8
第 14 回 21 年 1～6 月	1.8	3.5	10.5	49.1	33.3	1.8	22.4
第 13 回 20 年 7～12 月	0	0	14.9	42.6	38.2	4.3	18.9
第 12 回 20 年 1～6 月	0	6.7	26.7	46.7	19.9	0	30.1
第 11 回 19 年 7～12 月	0	6.4	40.4	40.4	12.8	0	35.1
第 10 回 19 年 1～6 月	1.9	17.3	36.5	36.5	3.9	3.9	43.9
第 9 回 18 年 7～12 月	4.2	18.8	41.7	25.0	8.2	2.1	46.4
第 8 回 18 年 1～6 月	0	34.0	46.8	14.9	4.3	0	52.6
第 7 回 17 年 7～12 月	2.2	40.0	28.9	20.0	6.7	2.2	52.8
第 6 回 17 年 1～6 月	0	19.5	31.7	41.5	7.3	0	41.5
第 5 回 16 年 7～12 月	2.5	15.0	35.0	30.0	17.5	0	38.8
第 4 回 16 年 1～6 月	2.8	19.4	30.6	38.9	8.3	0	42.4
第 3 回 15 年 7～12 月	4.0	14.0	28.0	38.0	14.0	2.0	38.8

質問5 業界の小山市における売上（売上金額の増減）

		増加した	やや増加 した	変わら ない	やや減少 した	減少した	無回答	D I 値
第2回	15年 1～6月	3.4	11.9	30.5	39.0	15.3	0	37.3
初回	14年 7～12月	2.5	8.6	21.0	28.4	37.0	2.5	27.2

質問7 業界の小山市の売上高見通し（来半期の見通し）

見通し対象時期	増加する	やや増加する	変わらない	やや減少する	減少する	無回答	D I 値
今回 令和 元年 7～12月	2.2	21.7	38.0	29.3	4.3	4.3	46.8
前回 平成 31年 1～6月	2.2	24.4	57.8	15.6	0	0	53.3
前々回 30年 7～12月	5.3	15.8	63.2	15.8	0	0	52.7
第31回 30年 1～6月	0	30.2	53.5	14.0	2.3	0	52.9
第30回 29年 7～12月	0	10.6	66.0	19.1	4.3	0	45.7
第29回 29年 1～6月	0	18.4	61.2	18.4	2.0	0	49.0
第28回 28年 7～12月	5.6	22.2	44.4	22.2	5.6	0	50.0
第27回 28年 1～6月	0	17.4	50.0	28.3	2.2	0	45.1
第26回 27年 7～12月	0	18.4	55.1	24.5	2.0	0	47.5
第25回 27年 1～6月	0	23.9	43.5	23.9	6.5	2.2	47.4
第24回 26年 7～12月	2.0	18.0	44.0	28.0	6.0	2.0	45.4
第23回 26年 1～6月	2.0	26.5	44.9	16.3	10.2	0	48.4
第22回 25年 7～12月	1.9	33.3	48.1	9.3	5.5	1.9	54.3
第21回 25年 1～6月	2.0	32.7	34.7	18.4	10.2	2.0	49.5
第20回 24年 7～12月	0	16.7	39.6	27.1	14.5	2.1	39.9
第19回 24年 1～6月	0	18.2	50.9	23.6	7.3	0	45.0
第18回 23年 7～12月	3.8	13.5	40.4	28.8	11.6	1.9	42.1
第17回 23年 1～6月	4.4	15.6	57.8	17.8	4.4	0	49.5
第16回 22年 7～12月	0	27.1	47.9	10.4	10.4	4.2	48.9
第15回 22年 1～6月	0	10.4	39.6	31.3	18.7	0	35.4
第14回 21年 7～12月	1.8	17.5	31.6	35.1	12.2	1.8	40.2
第13回 21年 1～6月	0	2.1	14.9	19.1	59.6	4.3	14.4
第12回 20年 7～12月	0	4.4	24.4	53.3	17.9	0	28.8
第11回 20年 1～6月	0	10.6	44.7	38.3	6.4	0	39.9
第10回 19年 7～12月	1.9	23.1	57.7	13.5	0	3.8	53.5
第9回 19年 1～6月	2.1	29.2	39.6	16.7	6.2	6.2	51.2
第8回 18年 7～12月	2.1	21.3	59.6	10.6	4.3	2.1	51.6
第7回 18年 1～6月	0	35.6	42.2	13.3	4.5	4.4	53.5
第6回 17年 7～12月	0	22.0	51.2	26.8	0	0	48.8
第5回 17年 1～6月	2.5	17.5	27.5	40.0	10.0	2.5	40.4
第4回 16年 7～12月	0	19.4	58.3	13.9	2.8	5.6	50.0
第3回 16年 1～6月	2.0	18.0	34.0	30.0	12.0	4.0	41.7

質問7 業界の小山市の売上高見通し（来半期の見通し）

見通し対象時期	増加する	やや増加する	変わらない	やや減少する	減少する	無回答	D I 値
第2回 15年7～12月	0	10.0	43.3	31.7	15.0	0	37.1
初回 15年1～6月	0	8.6	30.9	30.9	27.2	2.4	30.4

質問9 来半期の販売価格見通し⁴

見通し対象時期	上昇する	やや上昇する	変わらない	やや低下する	低下する	無回答	D I 値
今回 令和元年7～12月	2.2	17.4	52.2	23.9	0	4.3	49.5
前回 平成31年1～6月	0	13.3	71.1	13.3	13.3	0	48.9
前々回 30年7～12月	0	10.5	73.7	13.2	0	2.6	49.3
第31回 30年1～6月	0	18.6	69.8	11.6	0	0	51.8
第30回 29年7～12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0	0	62.2
第29回 29年1～6月	0	21.3	61.7	10.6	2.1	4.3	51.7
第28回 28年7～12月	0	9.3	64.8	18.5	3.7	3.7	45.7
第27回 28年1～6月	2.2	13.0	63.0	19.6	2.2	0	48.4
第26回 27年7～12月	0	18.4	65.3	14.3	0	2.0	51.0
第25回 27年1～6月	0	22.9	58.3	12.5	4.2	2.1	50.5
第24回 26年7～12月	2.0	20.0	62.0	12.0	2.0	2.0	52.0
第23回 26年1～6月	4.1	22.4	47.0	20.4	4.1	2.0	50.5
第22回 25年7～12月	0.0	25.9	51.9	14.8	1.8	5.6	52.0
第21回 25年1～6月	2.0	16.3	51	22.5	4.1	4.1	46.3
第20回 24年7～12月	0	10.4	47.9	35.4	6.3	0	40.6
第19回 24年1～6月	0	9.1	50.9	30.9	5.5	3.6	41.5
第18回 23年7～12月	0	7.7	46.2	36.5	5.8	3.8	39.5
第17回 23年1～6月	0	11.1	51.1	35.6	2.2	0	42.8
第16回 22年7～12月	0	12.5	54.2	31.3	2.0	0	44.3
第15回 22年1～6月	0	4.2	39.6	41.7	14.5	0	33.4
第14回 21年7～12月	1.8	10.5	43.9	29.8	10.5	3.5	40.5
第13回 21年1～6月	0	4.3	23.4	40.4	29.8	2.1	25.6
第12回 20年7～12月	4.4	17.8	25.6	43.3	6.7	2.2	41.4
第11回 20年1～6月	2.1	16.0	43.6	29.8	4.2	4.3	45.3
第10回 19年7～12月	1.9	17.3	50.0	26.9	2.0	1.9	47.5
第9回 19年1～6月	2.1	18.8	54.2	16.7	4.1	4.1	49.6
第8回 18年7～12月	0	25.5	46.8	21.3	2.1	4.3	50.0
第7回 18年1～6月	0	26.7	46.7	20.0	4.4	2.2	49.5
第6回 17年7～12月	0	14.6	48.8	29.3	0	7.3	46.0
第5回 17年1～6月	0	8.1	45.9	40.5	5.5	0	39.2
第4回 16年7～12月	0	8.3	61.1	22.2	5.6	2.8	43.5

⁴ 販売価格見通し、雇用見通しは第2回から実施。

質問 9 来半期の販売価格見通し

見通し対象時期	上昇する	やや上昇する	変わらない	やや低下する	低下する	無回答	D I 値
第 3 回 16 年 1～6 月	0	12.0	38.0	40.0	6.0	4.0	38.8
第 2 回 15 年 7～12 月	0	8.6	32.8	48.3	10.3	0	34.9

質問 10 来半期の雇用見通し

見通し対象時期	不足する	やや不足する	横ばい	やや過剰となる	過剰となる	無回答	D I 値
今回 令和元年7～12月	4.3	23.9	63.0	4.3	0	4.3	57.3
前回 平成31年1～6月	13.3	35.6	46.7	0	2.2	2.2	64.8
前々回 30年7～12月	2.6	21.1	65.8	7.9	0	2.6	54.7
第31回 30年1～6月	7.0	30.2	60.5	2.3	0	0	60.5
第30回 29年7～12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0	0	62.2
第29回 29年1～6月	10.6	34.0	53.2	2.1	0	0	65.7
第28回 28年7～12月	3.7	18.5	70.4	1.9	1.9	3.7	55.3
第27回 28年1～6月	0	26.2	64.3	7.1	2.4	0	53.6
第26回 27年7～12月	6.1	22.5	65.3	4.1	0	2.0	57.8
第25回 27年1～6月	8.3	33.3	54.2	2.1	2.1	0	62.3
第24回 26年7～12月	0	28.6	67.4	2.0	2.0	0	55.7
第23回 26年1～6月	2.0	26.5	59.2	8.2	0	4.1	55.8
第22回 25年7～12月	0	11.1	77.8	7.4	0	3.7	51.0
第21回 25年1～6月	0	14.3	67.3	14.3	2.1	2.0	48.9
第20回 24年7～12月	0	6.3	62.5	20.8	6.3	4.1	43.0
第19回 24年1～6月	1.8	18.2	63.6	9.1	1.8	5.5	52.4
第18回 23年7～12月	0	9.6	61.5	23.1	2.0	3.8	45.5
第17回 23年1～6月	0	6.7	64.4	26.7	2.2	0	43.9
第16回 22年7～12月	2.1	8.3	66.7	12.5	6.2	4.2	46.8
第15回 22年1～6月	2.1	2.1	54.2	35.4	4.1	2.1	40.5
第14回 21年7～12月	0	7.0	56.1	24.6	3.5	8.8	43.3
第13回 21年1～6月	4.3	2.1	34.0	36.2	14.9	8.5	34.9
第12回 20年7～12月	0	11.1	80.0	8.9	0	0	50.6
第11回 20年1～6月	2.1	17.0	70.2	6.4	0	4.3	53.9
第10回 19年7～12月	3.8	26.9	63.5	1.9	0	3.9	58.4
第9回 19年1～6月	8.3	22.9	52.1	8.3	0	8.4	58.5
第8回 18年7～12月	2.1	21.3	53.2	14.9	2.1	6.4	51.7
第7回 18年1～6月	0	13.3	73.3	6.7	2.3	4.4	50.5
第6回 17年7～12月	0	22.0	61.0	9.8	0	7.2	53.3
第5回 17年1～6月	5.0	5.0	65.0	20.0	2.5	2.5	47.4
第4回 16年7～12月	0	16.7	72.2	8.3	2.8	0	50.7
第3回 16年1～6月	0	8.0	56.0	30.0	4.0	2.0	42.3

質問 10 来半期の雇用見通し

見通し対象時期	不足する	やや不足する	横ばい	やや過剰となる	過剰となる	無回答	D I 値
第 2 回 15 年 7～12 月	0	8.8	57.9	28.1	5.2	0	42.6

質問 11 資金繰りの状況（前半期との比較）⁵

	改善した	やや改善した	どちらとも いえない	やや悪化した	悪化した	無回答	D I 値
今回 平成 31 年 1～6 月	6.5	8.7	69.6	13.0	0	2.2	52.2
前回 30 年 7～12 月	2.2	24.4	62.2	11.1	0	0	54.4
前々回 30 年 1～6 月	2.6	15.8	68.4	10.5	0	2.6	52.6
第 31 回 29 年 7～12 月	4.7	14.0	62.8	18.6	0	0	51.3
第 30 回 29 年 1～6 月	4.3	17.0	70.2	8.5	0	0	54.3
第 29 回 28 年 7～12 月	2.1	17.0	68.1	12.8	0	0	53.1
第 28 回 28 年 1～6 月	7.4	9.3	61.1	18.5	1.9	1.9	50.5
第 27 回 27 年 7～12 月	4.3	10.9	69.6	13.0	2.0	2.2	51.7
第 26 回 27 年 1～6 月	2.0	6.2	71.4	16.4	2.0	2.0	47.4
第 25 回 26 年 7～12 月	2.1	10.4	64.6	20.8	0	2.1	48.4
第 24 回 26 年 1～6 月	4.0	20.0	56.0	18.0	2.0	0	51.5
第 23 回 25 年 7～12 月	4.1	16.3	59.2	18.4	0	2.0	51.6
第 22 回 25 年 1～6 月	3.7	22.2	51.9	18.5	0	3.7	52.9
第 21 回 24 年 7～12 月	6.1	16.3	53.1	14.3	8.2	2.0	49.4
第 20 回 24 年 1～6 月	2.1	18.8	58.3	8.3	8.3	4.2	49.5
第 19 回 23 年 7～12 月	9.1	7.3	50.0	20.9	7.2	5.5	47.4
第 18 回 23 年 1～6 月	0	9.6	48.1	26.9	11.6	3.8	39.5
第 17 回 22 年 7～12 月	0	17.8	55.6	15.6	8.8	2.2	46.1
第 16 回 22 年 1～6 月	4.2	8.3	54.2	27.1	6.2	0	44.3
第 15 回 21 年 7～12 月	2.1	4.2	62.5	16.7	14.5	0	40.7
第 14 回 21 年 1～6 月	3.5	10.5	33.3	36.8	10.6	5.3	39.3
第 13 回 20 年 7～12 月	2.1	6.4	44.7	34.0	12.8	0	37.8
第 12 回 20 年 1～6 月	0	13.3	48.9	35.6	2.2	0	0.0
第 11 回 19 年 7～12 月	4.3	8.5	46.8	27.7	6.3	6.4	43.8
第 10 回 19 年 1～6 月	3.8	17.3	53.8	21.2	0.0	3.9	50.9
第 9 回 18 年 7～12 月	6.3	16.7	54.2	12.5	6.1	4.2	51.2
第 8 回 18 年 1～6 月	0	21.3	59.6	12.8	2.0	4.3	51.2

⁵ この項目は第 8 回から調査を実施。